

平成元年度水稲作関係

除草剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

平成元年度水稲作関係除草剤試験成績中央検討会は、平成元年12月14～15日の2日間、植調会館会議室において開催された。なお、適1試験は中央検討会に先がけ、平成元年10月12日植調会館にて開催された。これらの結果の概要を報告する。

1) 第1次適用性試験(適1)試験について

平成元年度の適1試験は、北海道地域(植調北海道試験地)、東北地域(植調古川試験地)、北陸地域(植調新潟第1試験地)、関東地域(植調研究所)、近畿地域(植調滋賀試験地)、中国地域(植調広島試験地)、九州地域(植調佐賀試験地)の全国7地域で34薬剤(のべ162点)について実施した。その判定結果は、第1表のとおりである。

2) 第2次適用性試験(適2)試験について

平成元年度の適2試験は、次のような試験区

分で実施した。すなわち、稚苗移植栽培の移植前土壌混和处理(Ⅱ-1, 1剤6点)、移植前後土壌処理(Ⅱ-2, 1剤9点)、移植後土壌処理(Ⅱ-3, 14剤168点)、茎葉兼土壌処理(Ⅱ-4, 1剤15点)、適用時期拡大(Ⅱ-5, 12剤122点)、特殊雑草防除(Ⅱ-6, のべ78剤283点)、湛水直播栽培用(Ⅲ-1, 2剤7点)、乾田直播栽培用(Ⅲ-2, 1剤3点)、畦畔雑草用(Ⅳ, 6剤33点)、耕起前雑草用(Ⅴ, 2剤6点)、休耕田雑草用(Ⅵ, 1剤7点)、初期一発処理剤(Ⅶ-1, 31剤413点)、初・中期一発処理剤(Ⅶ-2, 21剤344点)、長期持続型一発処理剤(Ⅶ-3, 11剤91点)、少量散布(Ⅷ, 5剤24点)の総のべ点数が1,531点であった。これら適2試験の判定結果は第2表、実用化可能と判定された除草剤の使用基準は第3表のとおりである。

第1表 平成元年度水稲作関係除草剤適1試験成績判定結果一覧表

No.	薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および 含有率 (%)	試験実施場所別総合評価							中央判定結果 〔今後の課題点等〕
			北海道	東北	北陸	関東	近畿	中国	九州	
1	CGM-15D 〔三菱油化〕	粒 プレチラクロール 1.5 クロメプロップ 1.3 ジメタメトリン 0.2	◎	○	○	□	□	□	□	寒地・寒冷地○ノビエ1.5Lまで (一年生雑草・マツバイ・ホタルイ) 温暖地以西□〔薬害軽減〕
2	DH-101	粒 トリディフェン 1.0		□		□			△	□ノビエ1.5Lまで(ノビエ・ホタルイ対象・混合母剤として)

No.	薬 剤 名・剤 型 〔 委 託 者 名 〕	有効成分および 含有率 (%)	試験実施場所別総合評価							中 央 判 定 結 果 〔 今後の課題点等 〕
			北海道	東北	北陸	関東	近畿	中国	九州	
3	DH-108 粒 〔 ダウケミカル日本 〕	未公開 0.5 既知A 4 既知B 3		○		○			□	□ノビエ1～1.5 Lまで〔多年生雑草に対する効果・薬害軽減化〕
4	DH-109 粒 〔 ダウケミカル日本 〕	未公開 0.5 既 知 0.07		○		□			□	□ノビエ1.5 Lまで〔薬害発生条件の解明〕
5	DLH-069 粒 〔 ダイセル化学工業 〕	DLH-060 (未) 0.9 未公開 (既知) 5	○	○	□	□	□	□	□	寒地・寒冷地北部○ノビエ1 Lまで〔一年生雑草・マツバイ・ホタルイ〕〔効果・薬害〕 寒冷地南部以西□〔処理適期狭いが効果の持続性が優れるので活用 法検討〕
6	DM-72 BD① 粒 〔 日本モンサント*・デュポンジャパン 〕	MON-72 0.3 BAS-514 1 ペンシルフロンメチル 0.17 ダイムロン 1.5			◎ ↓ ○	○	○	◎	△	寒冷地南部～温暖地○ノビエ2.5 Lまで〔但し、ミズガヤツリ多発の場合はノビエ2 Lまで〕 暖地△〔効果・薬害軽減化〕
7	DM-72 D① 粒 〔 北興化学工業 〕	MON-72 0.4 既 知 0.17 ダイムロン 1.5			◎ ↓ ○	○	○	○	□	寒冷地南部～温暖地○ノビエ1.5 Lまで 暖地□〔効果・薬害の検討〕
8	DPX-47 粒 〔 デュポンジャパン 〕	未公開 (新規) 0.03	△	○	◎ ↓ ○	□	□	□	○	全域□〔カヤツリグサ科雑草対象・混合母剤として〕
9	DPX-48 粒 〔 デュポンジャパン 〕	未公開 (新規) 0.07 未公開 (既知) 1.5	□	○	◎ ↓ ○	○	○	□	□	全域□〔ノビエに対する効果・薬害の検討〕
10	DPX-84 BM 粒 〔 三菱油化 〕	ペンシルフロンメチル 0.25 BAS-514 0.7 ジメピペレート 5	○	◎		○				寒地～寒冷地○ノビエ2 Lまで〔但し、ミズガヤツリ多発田では早目に使用〕
11	DPX-84 BM① 粒 〔 三菱油化 〕	ペンシルフロンメチル 0.17 BAS-514 0.7 ジメピペレート 5			◎ ↓ ○	○	○	◎	○	寒冷地南部以西○ノビエ2 Lまで〔但し、ミズガヤツリ多発田では早目に使用〕
12	HOK-891 粒 〔 北興化学工業 〕	シメトリン 1.5 フェノチオール 0.7 SKH-301 0.3	□	○	□ ↓ △	△	□	△	△	全域□〔一年生広葉雑草に対する効果・薬害軽減化〕
13	KH-249 ① 粒 〔 アグロカネショウ 〕	KH-218 1.5 ピラゾレート 5 ACN 3	○	○	○	□	○	○	○	全域○ノビエ1.5 Lまで〔一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ〕〔ミズガヤツリへの効果〕

No	薬 剤 名・剤 型 〔 委 託 者 名 〕	有効成分および 含有率 (%)	試験実施場所別総合評価							中 央 判 定 結 果 〔 今 後 の 課 題 点 等 〕
			北 海 道	東 北	北 陸	関 東	近 畿	中 国	九 州	
14	KH-255 粒 〔 アグロカネショウ 〕	KH-218 2 ペンシルフロンメチル 0.25	○	◎						寒地・寒冷地北部○ノビエ 1.5 L まで〔一年生雑草・マツバイ・ホ タルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ〕
15	KH-255 ① 粒 〔 アグロカネショウ 〕	KH-218 2 ペンシルフロンメチル 0.17				○	□	□	○	寒冷地南部以西○ノビエ 1.5 L まで〔 薬害の検討 〕
16	KPP-314 乳 〔 科研製薬 〕	未公開（新規） 12		◎		○			□	寒冷地～温暖地○雑草発生前（一 年生雑草・マツバイ） 暖地□〔 薬害軽減化一使用量 〕
17	KPP-314 粒 〔 科研製薬 〕	新規化合物 2	□	○	□	○	□	□	□	全域□ノビエ 1 L まで〔一年生雑 草・マツバイ〕〔 薬害の検討およ び効果の持続性優れるので活用法 検討 〕
18	KUH-883 ① 粒 〔 クミアイ化学工業 〕	ベンチオカーブ 5.0 メフェナセット 1 ペンシルフロンメチル 0.17	◎	○	○	○	○	◎	◎	寒冷地南部以西○ノビエ 2 L まで （一年生雑草・マツバイ・ホタル イ・ウリカワ・ミズガヤツリ）
19	KUH-891 粒 〔 クミアイ化学工業 〕	ベンチオカーブ 5.0 MON-72 0.3 ペンシルフロンメチル 0.25	◎	◎						寒地・寒冷地北部◎ノビエ 1.5 ～ 2 L まで〔一年生雑草・マツバイ・ ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツ リ〕
20	KUH-891 ① 粒 〔 クミアイ化学工業 〕	ベンチオカーブ 5.0 MON-72 0.3 ペンシルフロンメチル 0.17			◎	○				寒冷地南部・温暖地東部○ノビエ 1.5 L まで〔一年生雑草・マツバ イ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガ ヤツリ〕
21	MO フロアブル 〔 三井東圧化学 〕	CNP 40	○	○	○	○	○	□	□	全域○ノビエ発生始めまで〔一年 生雑草〕
22	NC-311 BCG-D 粒 〔 日産化学工業*・日本 チバガイギー 〕	NC-311 0.07 BAS-514 0.9 プレチラクロール 1.5 ジメタメトリン 0.2	◎	◎	◎	○	○	□	□	全域○ノビエ 2.5 L まで〔 高温時 の薬害の検討 〕
23	NC-311 CG-D 粒 〔 日産化学工業*・日本 チバガイギー 〕	NC-311 0.07 プレチラクロール 2 ジメタメトリン 0.1	○	◎	◎	□	○			寒地～温暖地○ノビエ 1.5 L まで 〔 薬害の検討 〕
24	NC-311 CG①-D 粒 〔 日産化学工業*・日本 チバガイギー 〕	NC-311 0.07 プレチラクロール 1.5 ジメタメトリン 0.2				○	○	○	△	温暖地○ノビエ 1.5 L まで 暖地△〔 薬害の検討 〕

No	薬 剤 名 ・ 剤 型 〔 委 託 者 名 〕	有効成分および 含有率 (%)	試験実施場所別総合評価							中 央 判 定 結 果 〔 今後の課題点等 〕
			北 海 道	東 北	北 陸	関 東	近 畿	中 国	九 州	
25	NC-311T® 粒 〔 日産化学工業*・日本 特殊農業製造 〕	NC-311 0.1 メフェナセット 4	○	○		□				寒地～温暖地東部○ノビエ2.5 L まで〔 多年生雑草効果向上 〕
26	NC-326 粒 〔 日産化学工業 〕	NC-311 0.17 エスプロカルブ 7 既知 0.3	○	○	◎	□				寒地～温暖地東部○ノビエ2 Lま で〔 多年生雑草効果向上・薬害 〕
27	NH-8911 粒 〔 日本農薬 〕	DPX-84 0.25 エスプロカルブ 5 BAS-514 1	□	◎		○				寒地～温暖地東部○ノビエ2.5 L まで
28	NH-8913 粒 〔 日本農薬 〕	DPX-84 0.25 エスプロカルブ 5 BAS-514 1 SAP 3	○	◎		○				寒地～温暖地東部○ノビエ2.5 L まで
29	NSK-852 粒 〔 徳山曹達・北興化学工 業 〕	NSK-850 0.65 ビフェノックス 4	○	○	□	□	□	□	□	寒地・寒冷地○ノビエ1 Lまで (一年生雑草・マツバイ・ホタル イ) 温暖地以西□〔 効果・薬害 〕
30	SPM-344® 粒 〔 日本モンサント*・住 友化学工業・三共 〕	プロモブチド 3 ピラゾレート 6 MON-72 0.4	□							寒地□〔 薬害軽減 〕
31	SW-665 粒 〔 三共 〕	未公開 計 6.65 (3種混合)	○	○	◎	○	○	○	□	寒地～温暖地○ノビエ1.5 L まで 〔 暖地薬害の検討 〕
32	TCG-128 乳 〔 東ソー 〕	TSH-888 12 プレチラクロール 8	○	○	◎	○	□	◎	△	寒地～温暖地○雑草発生前(一年 生雑草・マツバイ・ホタルイ・ミ ズガヤツリ) 暖地△〔 薬害の検討 〕
33	TCG-88 乳 〔 東ソー 〕	TSH-888 8 プレチラクロール 8				○				温暖地東部○雑草発生前(一年生 雑草・マツバイ・ホタルイ・ミズ ガヤツリ)
34	TH-913BSM 粒 〔 武田薬品工業 〕	TH-913 0.3 BAS-514 1 ダイムロン 5 MON-72 0.3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	□	寒地～温暖地◎ノビエ2.5 L まで 暖地□〔 早い処理時期での薬害・ ノビエ殺草幅 〕

注) 上記判定欄の記号については、◎; 極めて有望, ○; 有望, □; 可能性あり, △; 再検討, ×; 見込なし, を表わす。

第2表 平成元年度水稻作関係除草剤適2試験成績判定結果一覧表

区 分	判定	実	実・継	継	継?	中止
II-1.	移植前土壌混和処理			TCG-128乳		
II-2.	移植前後土壌処理		CG-113粒, (追加) YH-3粒.			
II-3.	移植後土壌処理		CG-113D粒, CG-155B①粒, CGM-15粒, CGM-15D粒, KH-218粒, KUH-883①粒, MSS-148①粒, SL-652粒, SUM-72粒, TSH-355粒, TSJ-756粒, Y-873粒, (追加) DPX-84A粒, DPX-84A①粒, DPX-84M粒, DPX-84M①粒.	JC-940粒, NSK-852粒,		
II-4.	茎葉兼土壌処理		BAS-514粒.			
II-5.	適用時期拡大		BAS-3510(Na)粒, BAS-3510(Na)①液, BAS-521粒, BAS-521水和, CG-SW①D粒, DPX-84①粒, DPX-84A①粒, MSS-148①粒, NC-311粒, NTN-806①粒, YH-455粒, (追加) DPX-84粒, DPX-84A粒, DPX-84M粒, DPX-84M①粒.	TH-913①粒.		
II-6-(1)	クログワイ対象		BAS-521水和, DPX-84A粒, <u>DPX-84B粒</u>, <u>DPX-84B①粒</u>, <u>DPX-84CG粒</u>, <u>DPX-84CG①粒</u>, <u>DPX-84SC①粒</u>, <u>DPX-84T粒</u>, <u>NC-311B①粒</u>, <u>NC-311R粒</u>, YH-3粒. (但し, 連年施用については継続検討) <u>DPX-84A①粒</u>, <u>DPX-84M粒</u>, <u>DPX-84M①粒</u>, <u>DPX-84SC粒</u>, <u>DPX-84TD①粒</u>. (連年施用についても「実・継」) BAS-3510(Na)①液, DPX-84粒, <u>DPX-84①粒</u>, <u>NC-311粒</u>. (連年施用についても, 徹底防除にもちいる剤として「実・継」)	(連年施用について継続検討) <初年目> NS-112・NS-112①粒, DM-72B粒, DM-72B①粒, NC-311BCG粒, NC-311BS粒, NC-311CG粒, NC-311CG①粒, NC-311T粒, NCM-72粒, TSJ-756粒. <2年目> BAS-521水和, DPX-84A粒, DPX-84B粒, DPX-84B①粒, DPX-84CG粒, DPX-84CG①粒, DPX-84SC①粒, DPX-84T粒, NC-311B①粒, NC-311R粒, YH-3粒.		
II-6-(2)	オモダカ対象		BAS-521粒, DPX-84B①粒. NC-311粒, NC-311B①粒. (但し, 連年施用については継続検討) <u>DPX-84①粒</u>, <u>DPX-84TD①粒</u>, <u>NC-311R粒</u>, <u>NCM-72粒</u>. (連年施用についても「実・継」)	DM-72B粒, DM-72B①粒. (連年施用について継続検討) <初年目> NC-311粒, NC-311B①粒, NC-311BCG粒, NC-311BS粒, NC-311CG粒, NC-311CG①粒, NC-311T粒.		

区 分	判 定	実	実 ・ 継	継	継 ?	中止
II-6-(3)	セリ対象		DM-72B粒, DM-72B①粒, DPX-84粒, DPX-84①粒, DPX-84B粒, DPX-84B①粒, NC-311粒, NC-311BS粒, NC-311T粒.			
II-6-(4)	ヒルムシロ 対象		DPX-84B①粒.			
II-6-(5)	シズイ対象		DM-72B粒, KUH-883粒, NC-311BCG粒, NC-311BS 粒, NC-311CG粒, NC-311R 粒.	YH-3粒.		
II-6-(6)	エゾノサヤ ヌカグサ対 象		KUH-883粒, NC-311BCG粒, NC-311BS粒, NC-311CG粒, NC-311T粒.			
II-6-(7)	クサネム対 象		DPX-84SC①粒, DPX-84TD ①粒, NC-311B①粒, NC-311 BCG粒, NC-311BS粒.			
II-6-(8)	コウキヤガ ラ対象		DPX-84TD①粒. NC-311BCG粒, NC-311BS 粒, NC-311T粒. (但し, 連年施用効果については 継続検討) DPX-84SC粒. (連年施用についても「実・ 継」)	(連年施用について継続検討) <初年目> NC-311BCG粒, NC-311BS 粒, NC-311T粒.		
II-6-(9)	キシウス ズメノヒエ 対象		BAS-521水和.			
III-1.	湛水直播		DPX-84A①粒, DPX-84M粒.			
III-2.	乾田直播		DPX-84A①粒.			
IV.	畦畔雑草		BGX-816水溶, MON-8794液, MW-831水溶, SC-224液, SL-236①乳.	HSP-891液.		
V.	耕起前		BGX-816水溶, MW-831水溶.			
VI.	休耕田		SC-224液.			
VII-1.	初期一発処理剤		CG-SW①D粒, DPX-84BM粒, DPX-84BM①粒, DPX-84CG 粒, DPX-84CG①粒, DPX-84 M粒, DPX-84SKH①粒, HSW-871粒, KH-249粒, KUH-883粒, MT-032粒, NC-311CG粒, NC-311CG① 粒, NC-311CG-D粒, NC-311 CG①-D粒, NCM-72粒, NJM-754粒, PSS①D粒, SPM-344粒, TJM-354粒, TSM-344粒, TSM-612フロ アブル, TSM-612①フロアブル.	DM-72粒, DM-72①粒, DM-72D①粒, NSK-850D粒, NSK-850D①粒, SKH-8602 ①粒, SPM-344①粒, SW- 665粒.		

判定 区分	実	実・継	継	継?	中止
VII-1. 初期一発処理剤 (つづき)		(追加) <u>TSM-344</u> ⑩粒.			
VII-2. 初・中期一発処理剤		<u>DM-72B</u> ⑩粒, <u>DPX-84B</u> 粒, <u>DPX-84B</u> ⑩粒, <u>DPX-84SC</u> 粒, <u>DPX-84SC</u> ⑩粒, <u>DPX-84TD</u> ⑩粒, <u>NC-311B</u> ⑩粒, <u>NC-311BCG</u> 粒, <u>NC-311BCG-D</u> 粒, <u>NC-311BS</u> 粒, <u>NC-311R</u> 粒, <u>NC-311R</u> ⑩粒, <u>NC-311T</u> 粒, <u>NC-311T</u> ⑩粒, <u>NC-YH</u> 粒, <u>TM-913BA</u> 粒, <u>TH-913BS</u> 粒, (追加) <u>DPX-84T</u> 粒, <u>NC-311BCG</u> ⑩粒, <u>NC-311SC</u> 粒.	<u>DM-72BD</u> ⑩粒, <u>KUH-882</u> 粒, <u>KUH-882</u> ⑩粒, <u>NC-311SC</u> ⑩粒.		
VII-3. 長期持続型一発処理剤		<u>DM-72B</u> 粒, <u>TSM-344</u> ⑩粒.	<u>KUH-891</u> 粒, <u>KUH-891</u> ⑩粒, <u>NC-326</u> 粒, <u>NH-727</u> 粒, <u>NH-728</u> 粒, <u>NH-8911</u> 粒, <u>TH-913BSM</u> 粒. <u>NC-311BCG</u> ⑩粒, <u>NC-311SC</u> 粒. (但し, VII-2として「実・継」)		
VIII-1. 少量散布法		<u>DPX-84B</u> 粒, <u>DPX-84B</u> ⑩粒, <u>DPX-84M</u> 粒, <u>DPX-84M</u> ⑩粒.			
VIII-2. 少量散布		<u>CG-113</u> 粒.			

注: 1) 本年度新規に使用基準の作成されたものは, 薬剤名にアンダーラインを記した.

2) 本年度は「継?」および「中止」と判定された薬剤はなかった.

第3表 平成元年度水稻関係除草剤使用基準一覧表

区分	薬剤名	処理	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
II-2. 移植前後土壌処理	① <u>CG-113</u> 粒 (ソルネット)	土壌処理	全域の早期・普通期.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ. 〔但し, ミズガヤツリは寒地を除く. ヘラオモダカは温暖地東部以北.〕	<u>-7</u> ~- <u>4</u> , + <u>0</u> ~-+ <u>10</u> (ノビエ1.5Lまで). 〔但し, 寒地は- <u>5</u> ~-+ <u>10</u> , 温暖地西部早期は- <u>4</u> , + <u>0</u> ~-+ <u>10</u> , 暖地早期は+ <u>0</u> ~-ノビエ1Lまで, 暖地普通期は- <u>4</u> , + <u>0</u> ~-+ <u>7</u> . ホタルイ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 発生始まで.〕	300 g/a	砂壤土~埴土(2cm/日以下). 〔但し, 寒地・寒冷地北部・温暖地早期・温暖地西部以西の普通期は砂壤土を除く. 温暖地西部普通期は(1cm/日以下). 暖地の砂壤土は(1.5cm/日以下).〕	

区分	薬剤名	処理	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
II-2. 移植前後土壌処理(つづき)	② YH-3 粒 〔II-6-(1) と併用(過 年度通り). (リーダール)	土 壌 処 理	全域の早期・ 普通期.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ミズガヤツリ・ヘ ラオモダカ・クロ グワイ. 〔但し、ホタルイ は暖地普通期を 除く、ミズガヤ ツリは寒地を除 く、ヘラオモダ カは寒冷地以北 のみ、クログワ イは寒地・温暖 地早期を除く.〕	-3~+7(ノビ エ1Lまで). 〔但し、暖地は- 3~+5(暖地 普通期はノビエ 1.5Lまで). ホタルイ・ミズガ ヤツリ・ヘラオモ ダカ; 発生前~2 Lまで. クログワイ; 発生 始まで.〕	300~400 g/a 〔但し、暖 地のクロ グワイは 400g/a のみ.〕	砂壤土~埴 土(2cm/ 日以下). 〔但し、寒 冷地以北 ・温暖地 西部早期 は砂壤土 を除く、 暖地は埴 土~埴土 (1cm/ 日以下).〕	(1) 深水での処理 はさける. (2) クログワイ防 除は、クログワ イに有効な後期 剤との組合せで 使用する.
II-3. 移植後土壌処理	① CG-113 D粒 (パレージ)	土 壌 処 理	全域の早期・ 普通期.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ミズガヤツリ・ヘ ラオモダカ・アオ ミドロ・表層剥離. 〔但し、ミズガヤ ツリは寒冷地・ 温暖地のみ、ヘ ラオモダカは温 暖地東部以北の 普通期のみ、表 層剥離は暖地普 通期を除く.〕	+0~ノビエ1.5 Lまで. 〔但し、暖地は+ 3~ノビエ1.5 L.〕 ホタルイ・ミズガ ヤツリ・ヘラオモ ダカ; 発生始まで. アオミドロ・表層 剥離; 発生前. 〔但し、寒地は発 生前~始.〕	300g/a	砂壤土~埴 土(2cm/ 日以下). 〔但し、寒 地の砂壤 土は(1.5 cm/日以下). 温 暖地西部 ・暖地早 期は砂壤 土を除く、 暖地普通 期は埴埴 土~埴土.〕	
	② CG-155 B①粒 (セイラント*)	土 壌 処 理	全域の早期・ 普通期.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・ヘラオモ ダカ・セリ. 〔但し、ウリカワ は温暖地東部早 期を除く、ミズ ガヤツリは寒冷 地・温暖地以西 の早期・温暖地 東部の普通期の み、ヘラオモダ カは寒冷地以北 のみ、セリは寒 地・温暖地東部 普通期のみ.〕	+3~ノビエ2L まで. 〔但し、暖地早期 は+5~ノビエ 1.5Lまで、暖 地普通期はノビ エ1.5Lまで.〕 ホタルイ・ミズガ ヤツリ・ヘラオモ ダカ; 2Lまで. 〔但し、温暖地東 部早期のミズガ ヤツリは発生前. 温暖地東部普通 期のミズガヤツ リは発生始まで. ウリカワ; 発生始 まで. 〔但し、寒冷地は 2Lまで. セリ; 再生前~始.〕	300g/a	砂壤土~埴 土(2cm/ 日以下). 〔但し、寒 地の砂壤 土は(1.5 cm/日以下). 寒 冷地は砂 壤土は除 く、温暖 地東部の 早期は (1cm/ 日以下). 温暖地西 部の早期 は埴土~ 埴土(1 cm/日以下). 温 暖地西部 の普通期 は(1.5 cm/日以下). 暖 地の早期 は埴埴土 ~埴土 (1.5cm/ 日以下).〕	(1) ごく浅植えの 場合、薬害のお それがあるので 注意する.

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適 用 土 壌	使用上の注意
Ⅱ-3. 移植後土壌処理(つづき)	② CG-155 B①粒 (つづき)						暖地の普通期は埴埴土～埴土(2cm/日以下).	
	③ CGM-15 粒 (センチ)	土 壌 処 理	全域の早期・普通期.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ. 〔但し、ウリカワは暖地の普通期のみ。ミズガヤツリは温暖地東部普通期・温暖地西部・暖地のみ。ヘラオモダカは温暖地東部以北の普通期のみ。〕	+3～ノビエ1.5Lまで. ホタルイ; 2Lまで. 〔但し、寒冷地・温暖地西部早期・暖地普通期は発生始まで。ウリカワ; 2Lまで。 ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 発生始まで。 〔但し、寒地のヘラオモダカは2Lまで。〕	300 g/a	埴土～埴土(2cm/日以下). 〔但し、温暖地西部の普通期・暖地は(1.5cm/日以下). 温暖地西部の早期は(1cm/日以下). 砂埴土(1.5cm/日以下). 〔但し、寒地・暖地の普通期のみ。温暖地西部の普通期は(1cm/日以下).〕	
	④ CGM-15 D粒	土 壌 処 理	温暖地以北の普通期・温暖地東部の早期.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・アオミドロ・表層剥離. 〔但し、ウリカワは温暖地東部普通期のみ。ミズガヤツリは寒地・寒冷地を除く。ヘラオモダカは寒地のみ。アオミドロ・表層剥離は寒地・温暖地東部の早期・温暖地西部普通期のみ。〕	+3～ノビエ1.5Lまで. 〔但し、寒冷地・温暖地西部はノビエ1Lまで。〕 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ; 発生始まで. 〔但し、寒地・温暖地東部普通期のホタルイは2Lまで。 ヘラオモダカ; 2Lまで。 アオミドロ・表層剥離; 発生前。 〔但し、寒地は発生期。〕	300 g/a	砂埴土～埴土(2cm/日以下). 〔但し、温暖地西部は(1cm/日以下). 寒地の砂埴土は(1.5cm/日以下). 温暖地東部早期は埴埴土～埴土(1cm/日以下). 温暖地東部普通期は埴土～埴土(埴土は1cm/日以下).〕	
	⑤ KH-218 粒	土 壌 処 理	全域の早期・普通期.	一年生雑草・マツバイ・ヘラオモダカ. 〔但し、ヘラオモダカは寒地のみ。〕	+3～ノビエ1.5Lまで. 〔但し、寒冷地北部・温暖地東部普通期は+3～+7(ノビエ1Lまで). ヘラオモダカ; 発	300 g/a	埴土～埴土(2cm/日以下). 〔但し、温暖地東部早期は埴埴土～埴土(1.5	(1) コナギ多発田では早目に使用する。

区分	薬剤名	処理	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ-3. 移植後土壌処理(つづき)	⑤ KH-218 粒 (つづき)				生始まで.		cm/日以下). 温暖地西部は(1cm/日以下). 暖地早期は砂壌土~埴土(1cm/日以下). 暖地普通期は埴土~埴土(1cm/日以下).	
	⑥ KUH-883 ①粒 (ウルフエース17*)	土壌処理	寒冷地南部以西の早期・普通期. 但し, 温暖地西部の早期を除く.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・セリ・アオミドロ・表層剥離. [但し, ミズガヤツリは温暖地西部を除く. ヘラオモダカは寒冷地南部のみ. ヒルムシロは温暖地東部普通期のみ. セリは温暖地普通期のみ. アオミドロ・表層剥離は温暖地東部早期・温暖地普通期のみ.]	+5~ノビエ2Lまで. ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ; 2Lまで. [但し, 寒冷地は発生始まで. 暖地のミズガヤツリは発生始まで. ヘラオモダカ; 発生始まで. ヒルムシロ; 発生期. セリ; 再生前~始. アオミドロ・表層剥離; 発生前. [但し, 温暖地西部は発生始まで.]	300g/a	砂壌土~埴土(2cm/日以下). [但し, 寒冷地南部は埴土~埴土(1cm/日以下). 温暖地東部早期は砂壌土を除く. 温暖地西部普通期・暖地早期は(1.5cm/日以下). 暖地普通期は埴土~埴土(1.5cm/日以下).]	(1) 著しい多雨条件下では除草効果が低下する場合がありますので, 使用はさしひかえる. (2) 植付精度不良で, 根が露出する水田では使用しない.
	⑦ MSS-148 ①粒 (ピリカーナL*)	土壌処理	温暖地西部以西の早期・普通期.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ. [但し, ウリカワは温暖地西部普通期のみ. ミズガヤツリは暖地普通期を除く.]	+5~ノビエ2Lまで. ホタルイ; 2Lまで. [但し, 暖地のホタルイは発生始まで. ウリカワ・ミズガヤツリ; 発生始まで.]	300g/a	砂壌土~埴土(1.5cm/日以下). [但し, 温暖地西部普通期は(1cm/日以下). 温暖地西部早期は埴土~埴土(1cm/日以下). 暖地普通期は埴土~埴土(1cm/日以下).]	(1) 広葉多発田での使用は避ける.

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ—3. 移植後土壌処理 (つづき)	⑧ SL-652 粒 (グラナイス)	土壌処理	全域の早期・普通期。 但し、暖地の早期を除く。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・アオミドロ・表層剥離。 但し、ウリカワは寒冷地北部・温暖地東部早期を除く。ミズガヤツリは寒地・寒冷地北部・温暖地東部早期を除く。ヘラオモダカは寒地のみ。ヒルムシロは寒冷地・温暖地東部早期を除く。アオミドロは寒冷地北部を除く。表層剥離は寒冷地北部・暖地を除く。	+3～ノビエ2Lまで。 但し、寒地・寒冷地・温暖地東部・暖地は+3～ノビエ1.5Lまで。 ホタルイ; 2Lまで。 但し、寒地は発生始まで。 ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ; 発生始まで。 但し、暖地のウリカワは2Lまで。 アオミドロ・表層剥離; 発生期。	300g/a	砂壤土～埴土(2cm/日以下)。 但し、温暖地西部以西の普通期は(1.5cm/日以下)。 寒地・温暖地東部普通期の砂壤土は(1.5cm/日以下)。 温暖地東部早期は砂壤土を除く。温暖地西部早期は埴土～埴土(1cm/日以下)。	(1) トリアジン系除草剤の使用上の注意を守る。 (2) 著しい高温条件下の砂壤土ではクロロシスの発生することがあるので注意する。
	⑨ SUM-72 粒 (ライトーン*)	土壌処理	全域の早期・普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ。 但し、ミズガヤツリは温暖地のみ。ヘラオモダカは寒地・寒冷地北部のみ。	+3～ノビエ1.5Lまで。 ホタルイ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 発生始まで。 但し、温暖地東部のホタルイは2Lまで。	300g/a	砂壤土～埴土(2cm/日以下)。 但し、温暖地西部普通期・暖地早期は(1cm/日以下)。 寒地の砂壤土は(1.5cm/日以下)。 寒冷地は砂壤土を除く。温暖地東部早期は砂壤土～埴土(1cm/日以下)。 埴土～埴土(1.5cm/日以下)。 温暖地西部早期は埴土～埴土(1cm/日以下)。 暖地普通期は埴土～埴土(1cm/日以下)。	

区分	薬剤名	処理	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ 3. 移植後土壌処理(つつき)	⑩ TSH-355 粒 (オリザガード)	土壌 処理	全域の早期・ 普通期.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ミズガヤツリ. 〔但し、ミズガヤ ツリは寒地を除 く.〕	+3〜ノビエ 1.5 Lまで. ホタルイ; 2Lま で. 〔但し、寒冷地は 発生始まで. ミズガヤツリ; 発 生始まで.〕	300g/a	砂壤土〜埴 土(2cm/ 日以下). 〔但し、温 暖地西部 普通期は (1cm/ 日以下). 寒地の砂 壤土は (1.5cm/ 日以下). 寒冷地は 砂壤土を 除く. 温 暖地西部 早期は埴 土〜埴 土(1cm/ 日以下).〕	(1) 広葉多発田で の使用はさける.
	⑪ TSJ-756 粒	土壌 処理	全域の早期・ 普通期.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ミズガヤツリ・ヘ ラオモダカ. 〔但し、ミズガヤ ツリは寒冷地・ 温暖地のみ. ヘ ラオモダカは寒 地・寒冷地北部 のみ.〕	+3〜ノビエ 1.5 Lまで. 〔但し、温暖地西 部(近畿・中国) 普通期は+5〜 ノビエ 1.5Lま で. ホタルイ・ミズガ ヤツリ・ヘラオモ ダカ; 発生始まで.〕	300g/a	埴土〜埴土 (2cm/日 以下). 〔但し、温 暖地西部 以西は (1cm/ 日以下). 温暖地西 部(近畿・ 中国)普 通期・暖 地早期は 砂壤土(1 cm/日以下)を含 む.〕	(1) コナギ多発田 では早目に使用 する.
	⑫ Y-873 粒	土壌 処理	全域の早期・ 普通期.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ヘラオモダカ. 〔但し、ヘラオモ ダカは寒地のみ.〕	+3〜ノビエ 1.5 Lまで. ホタルイ; 2Lま で. 〔但し、寒地・温 暖地西部早期は 発生始まで. ヘラオモダカ; 発 生始まで.〕	300g/a	砂壤土〜埴 土(2cm/ 日以下). 〔但し、温 暖地西部 普通期・ 暖地は (1.5cm/ 日以下). 寒地の砂 壤土は (1.5cm/ 日以下). 温暖地西 部の早期 は埴土〜 埴土(1 cm/日以下).〕	(1) 広葉多発田で の使用はさける.

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適 用 土 壌	使用上の注意
II-3. 移植後土壌処理(つづき)	⑬ DPX-84 A粒 〔II-6-(1) と併用(過 年度通り). (ウルフ25)〕	土 壌 処 理	全域の普通 期・温暖地 東部の早期.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・オモダカ・ ヘラオモダカ・ク ログワイ・ヒルム シロ・エゾノサヤ スカグサ・シズイ・ アオミドロ・表層 剥離. 〔但し、ミズガヤ ツリは寒地を除 く. オモダカは 寒冷地・温暖地 東部普通期のみ. ヘラオモダカ・ アオミドロ・表 層剥離は寒冷地 以北のみ. クロ グワイ・シズイ は寒冷地のみ. ヒルムシロは寒 地・寒冷地・温 暖地西部のみ. エゾノサヤスカ グサは寒地のみ.〕	+5〜ノビエ2L まで. 〔但し、寒地はノ ビエ1.5Lまで.〕 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ・ ヘラオモダカ; 2 Lまで. オモダカ・クログ ワイ・ヒルムシロ; 発生始まで. エゾノサヤスカグ サ; 1〜4L(草 丈20cm以下). シズイ; 草丈2〜 3cmまで. アオミドロ・表層 剥離; 発生前.	g/a 300〜400 〔但し、400 はシズイ のみ.〕	砂壤土〜埴 土(2cm/ 日以下). 〔但し、寒 地の砂壤 土は(1.5 cm/日以 下). 寒 冷地南部 ・温暖地 は砂壤土 を除く. 暖地は埴 壤土〜埴 土.	(1) 著しい多雨条 件では、除草効 果が低下する場 合があるので使 用はさしひかえ る. (2) オモダカ防除 はオモダカに有 効な剤との組み 合わせで使用す る. (3) クログワイ防 除は、クログワ イに有効な剤と の組み合わせで 使用する.
	⑭ DPX-84 A①粒 〔II-6-(1) と併用 (ウルフ17)〕	土 壌 処 理	全域の早期・ 普通期.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・オモダカ・ ヘラオモダカ・ク ログワイ・ヒルム シロ・クサネム・ ヒメホタルイ・セ リ・コウキヤガラ・ アオミドロ・表層 剥離. 〔但し、ミズガヤ ツリは寒地を除 く. オモダカは 寒冷地南部・温 暖地の普通期・ 温暖地東部の早 期のみ. ヘラオ モダカは寒地の み. クログワイ は温暖地以西の 普通期のみ. ヒ ルムシロは温暖 地西部以西の早 期を除く. クサ ネムは寒冷地・ 温暖地の普通期 のみ. ヒメホタ ルイは暖地早期 のみ. コウキヤ ガラは温暖地東 部早期・暖地早 期のみ. セリは 温暖地普通期の み. アオミドロ・	+5〜ノビエ2L まで. 〔但し、寒冷地北 部以北はノビエ 1.5Lまで.〕 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ・ ヘラオモダカ; 2 Lまで. オモダカ; 発生始 まで. クログワイ; 発生 期. 〔但し、温暖地西 部は発生始.〕 ヒルムシロ; 発生 始まで. 〔但し、温暖地東 部は発生期.〕 クサネム; 発生前 〜本葉展開期. ヒメホタルイ; 発 生始まで. セリ; 再生前〜始 まで. コウキヤガラ; 発 生始〜盛期. アオミドロ・表層 剥離; 発生前.	g/a 300〜400 〔但し、寒 地と暖地 は300の み.〕	砂壤土〜埴 土(2cm/ 日以下). 〔但し、温 暖地西部 の普通期 と暖地早 期の砂壤 土は(1 cm/日以 下). 寒 地・寒冷 地北部・ 温暖地西 部の早期 は砂壤土 を除く.〕	(1) 処理後24時間 以内から1日50 mm以上の降雨が 連続することが 予想される場合 は使用をさしひ かえる. (2) オモダカ防除 はオモダカに有 効な剤との組み 合わせで使用す る. (3) コウキヤガラ 防除は、コウキ ヤガラに有効な 剤との組み合わせ で使用する. (4) クログワイ防 除はクログワイ に有効な剤との 組み合わせで使 用する. (5) クログワイに 有効な剤との組 み合わせで連年 施用することに よりさらに効果 が向上する(温 暖地普通期).

区分	薬剤名	処理	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
II-3. 移植後土壌処理 (つづき)	⑭ DPX-84 A㊦粒 (つづき)			表層剥離は寒冷地・温暖地西部普通期のみ。				
	⑮ DPX-84 M粒 〔II-6-(1) と併用. (プッシュ25)	土壌処理	全域の早期・普通期。 〔但し、温暖地西部の早期は除く。〕	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ・クログワイ・ヒルムシロ・クサネム・セリ・コウキヤガラ・シズイ・エゾノサヤヌカグサ・アオミドロ・表層剥離。 〔但し、ミズガヤツリは寒地を除く。オモダカ・クサネムは寒冷地・温暖地東部の普通期のみ。ヘラオモダカ・ヒルムシロ・アオミドロ・表層剥離は寒冷地以北のみ。クログワイは寒冷地・温暖地東部普通期・暖地のみ。セリ・シズイは寒冷地のみ。コウキヤガラは寒冷地北部のみ。エゾノサヤヌカグサは寒地のみ。〕	+5〜ノビエ2Lまで。 〔但し、寒地はノビエ1.5Lまで。〕 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで。 オモダカ; 発生始まで。 クログワイ; 発生期。 〔但し、寒冷地・温暖地東部普通期は発生始まで。〕 ヒルムシロ; 発生盛期まで。 〔但し、寒冷地は発生始まで。〕 クサネム; 発生前〜本葉展開期。 セリ; 再生前〜始。 コウキヤガラ; 発生始〜発生盛期。 シズイ; 草丈2〜3cmまで。 エゾノサヤヌカグサ; 1〜4L (草丈20cm以下)。 アオミドロ・表層剥離; 発生前。	g/a 300〜400 〔但し、400はシズイのみ。〕	砂壤土〜埴土 (2cm/日以下)。 〔但し、寒地・暖地・早期の砂壤土は (1.5cm/日以下)。 寒冷地・温暖地西部以西の普通期は砂壤土を除く。〕	(1) 著しい多雨条件では、除草効果が低下する場合がありますので使用はさしひかえる。 (2) <u>オモダカ防除はオモダカに有効な剤との組み合わせで使用する。</u> (3) コウキヤガラ防除は、コウキヤガラに有効な剤との組み合わせで使用する。 (4) クログワイ防除はクログワイに有効な剤との組み合わせで使用する。 (5) <u>クログワイに有効な剤との組み合わせで連年使用することによりさらに効果が向上する (温暖地東部普通期)。</u>
	⑯ DPX-84 M㊦粒 〔II-6-(1) と併用. (プッシュ17)	土壌処理	全域の早期・普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ・クログワイ・ヒルムシロ・クサネム・ヒメホタルイ・セリ・コウキヤガラ・アオミドロ・表層剥離。 〔但し、ウリカワは温暖地西部の早期を除く。ミズガヤツリは寒地を除く。オモダカは寒冷地・温暖地の普通期のみ。ヘラオモダカは寒冷地以北のみ。クログワイは温暖地普通期・暖地のみ。ヒルムシロは温暖地以北の普通	+5〜ノビエ2Lまで。 〔但し、寒地・寒冷地北部はノビエ1.5Lまで。〕 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで。 オモダカ; 発生始まで。 クログワイ; 発生期。 〔但し、温暖地は発生始。〕 ヒルムシロ; 発生期。 〔但し、寒地は発生盛期まで。寒冷地は発生始まで。〕 クサネム; 発生始〜盛期。 ヒメホタルイ; 発生始。	g/a 300〜400 〔但し、寒地・暖地は300のみ。〕	砂壤土〜埴土 (2cm/日以下)。 〔但し、寒地・温暖地西部普通期の砂壤土は (1.5cm/日以下)。 暖地早期の砂壤土 (1cm/日以下)。 寒冷地・温暖地西部早期は砂壤土を除く。〕	(1) <u>処理後24時間以内から1日50mm以上の降雨が連続することが予想される場合は使用をさしひかえる。</u> (2) <u>オモダカ防除はオモダカに有効な剤との組み合わせで使用する。</u> (3) コウキヤガラ防除は、コウキヤガラに有効な剤との組み合わせで使用する。 (4) クログワイ防除はクログワイに有効な剤との組み合わせで使用する。 (5) <u>クログワイに有効な剤との組み合わせで連年</u>

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
II-3. 移植後土壌処理 (つづき)	⑯ DPX-84 M①粒 (つづき)			期・温暖地東部の早期のみ。クサネムは北陸・温暖地東部普通期のみ。ヒメホタルイは暖地普通期のみ。セリは寒冷地以西の普通期のみ。コウキヤガラは温暖地東部早期・暖地早期のみ。アオミドロは寒地・寒冷地・温暖地西部の普通期のみ。表層剥離は寒地・寒冷地・温暖地西部の早期のみ。	セリ; 再生前～始まで。 コウキヤガラ; 発生始～盛期まで。 アオミドロ・表層剥離; 発生前。			<u>施用することによりさらに効果が向上する(温暖地普通期)。</u>
II-4. 茎葉兼土壌処理	① BAS-514 粒	茎葉兼土壌処理	全域の早期・普通期。 〔但し、暖地の早期を除く。〕	ノビエ。	+10～ノビエ3.5Lまで。 〔但し、寒地は+20～+30(ノビエ3Lまで)。寒冷地は+15～+20(ノビエ3.5Lまで)。温暖地東部は+15～+23(ノビエ3.5Lまで)。温暖地西部は+12～ノビエ3.5Lまで。〕	g/a 300～400 〔但し、温暖地のノビエ3L以降は400g/a。〕	砂壤土～埴土(2cm/日以下)。 〔但し、寒地の砂壤土は(1.5cm/日以下)。寒冷地は砂壤土を除く。温暖地西部早期は埴土～埴土(1cm/日以下)。温暖地西部以西の普通期は埴土～埴土(1cm/日以下)。〕	(1) ノビエ以外の草種に有効な剤と組み合わせて使用する。
II-5. 適用時期拡大	① BAS-3510 (Na)粒 (バサグラン)	茎葉処理	全域の早期・普通期。	一年生非イネ科雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ・エゾノサヤヌカグサ・シズイ。 〔但し、ミズガヤツリは寒地を除く。オモダカは寒冷地・温暖地東部普通期のみ。ヘラオモダカは温暖地西部以西の早期を除く。エゾノサヤヌカグサは寒地のみ。シズイは寒	田植前後土壌処理した場合。 +55まで。 〔但し、早期を除く。温暖地西部は+50まで。暖地は+40まで。〕 一年生非イネ科; 生育期。 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 発生盛期～増殖中期。 〔但し、寒地・温暖地西部以西の早期は発生盛期～増殖初期。〕	g/a 300～400	砂壤土～埴土(1.5cm/日以下)。 〔但し、寒地は(2cm/日以下)。〕	(1) 前処理剤との組み合わせで使用する。 (2) 落水もしくは浅水で使用する。 (3) 処理後の灌水は、48～72時間経過後に行なう。 (4) 処理後2日以内に降雨が予想される場合は使用をさしひかえる。

区分	薬剤名	処理	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ Ⅰ 5 適用時期 拡大(つづき)	① BAS-3510 (Na)粒 (つづき)			[冷地のみ。]	オモダカ; 発生始 ～発生盛期。 エゾノサヤヌカグ サ; 1～4L(草丈 20cm以下)。 シズイ; 草丈10～ 30cmまで。			
	② BAS-3510 (Na)①液 〔Ⅱ-6-(1)〕 と併用。 (バサグラン)	茎葉 処理	全域の早期・ 普通期。	一年生非イネ科雑 草・マツバイ・ホ タルイ・ウリカワ・ ミズガヤツリ・オ モダカ・ヘラオモ ダカ・クログワイ・ エゾノサヤヌカグ サ・シズイ・コウ キヤガラ。 〔但し、ミズガヤ ツリは寒地を除 く。オモダカは 寒冷地北部・温 暖地東部普通期・ 温暖地西部普通 期(四国)のみ。 ヘラオモダカは 寒冷地以北と温 暖地西部のみ。 クログワイは寒 冷地北部・温暖 地普通期・暖地 のみ。エゾノサ ヤヌカグサは寒 地のみ。シズイ は寒冷地北部の み。コウキヤガラ は寒冷地北部・ 暖地のみ。〕	田植前後土壌処理 した場合。 +25～+55。 〔但し、温暖地東 部の早期とオモ ダカは+30～+ 40。温暖地西部 以西の早期は+ 25～+30。温暖 地西部普通期は +25～+50。暖 地普通期は+25 ～+40。クログ ワイは+20～+ 40→+30～+50 の2回散布。コ ウキヤガラ多発 田は+30→+45 の2回散布。〕 一年生非イネ科; 生育期。 ホタルイ; 発生盛 期～増殖中期。 〔但し、寒地は発 生盛期～花茎抽 出期。寒冷地北 部・暖地早期は 発生盛期～増殖 初期。〕 ウリカワ・ミズガ ヤツリ; 発生盛期 ～増殖中期。 〔但し、寒冷地北 部以北では発生 盛期～増殖初期。〕 オモダカ; 5～6 L期, 矢じり葉 4枚まで。 〔但し、寒冷地・ 温暖地西部では 発生盛期～増殖 初期。〕 ヘラオモダカ; 発 生盛期～増殖初 期。 クログワイ; 発生 盛期(草丈15～ 30cm以下)。 エゾノサヤヌカグ サ; 1～4Lまで(草 丈20cm以下)。 シズイ; 草丈10～ 30cm以下。 コウキヤガラ; 増 殖期。	ml/a 50～70	砂壤土～埴 土。	(1) 前処理剤との 組み合わせで使 用する。 (2) 落水もしくは 浅水で使用する。 (3) 処理後の灌水 は48～72時間経 過後に行なう。 (4) 散布は水稻に なるべくかから ないようにする。 (5) 処理後2日以 内に降雨が予想 される場合は使 用をさしひかえ る。 (6) クログワイ防 除はクログワイ に有効な前処理 剤との組み合わせ で使用する。 (7) クログワイ徹 底防除には2回 散布の連年施用 する(全域の普 通期)。

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ — 5. 適用時期拡大(つづき)	③ BAS-521 粒 〔Ⅱ-6-(2) と併用. (グラスゴン)	茎 葉 兼 土 壌 処 理	全域の早期・ 普通期.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・オモダカ・ ヘラオモダカ・セ リ・エゾノサヤヌ カグサ・シズイ. (但し、ミズガヤ ツリは寒地を除 く。オモダカは 寒冷地・温暖地 の普通期・温暖 地西部の早期の み。ヘラオモダ カは寒冷地北部 以北・温暖地西 部普通期(近畿・ 中国)のみ。セ リは温暖地東部 早期を除く。エ ゾノサヤヌカグ サは寒地のみ。 シズイは寒冷地 北部のみ。	田植前後土壌処理 した場合. +20~+35(ノビ エ3.5Lまで). (但し、寒地はノ ビエ3Lまで. 温暖地西部の早 期は4Lまで.) ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ ; ; 4Lまで. (但し、温暖地西 部以西のホタル イは花茎抽出始 まで。温暖地西 部早期・暖地の ウリカワは5L まで。温暖地西 部早期のミズガ ヤツリは6Lま で。暖地のミズ ガヤツリは5L まで. オモダカ; 矢じり 葉2枚まで. (但し、温暖地西 部普通期は生育 初期4~5Lま で。温暖地西部 早期は矢じり葉 1枚まで. ヘラオモダカ; 3 Lまで. セリ; 発生盛期~ 増殖初期. エゾノサヤヌカグ サ; 1~4L(草 丈20cm以下). シズイ; 草丈10~ 20cmまで.	300g/a	砂壤土~埴 土(2cm/ 日以下). (但し、寒 地・暖地 早期の砂 壤土は (1.5cm/ 日以下). 暖地普通 期の砂壤 土は(1 cm/日以 下). 温 暖地の早 期は砂壤 土を除く.	(1) 前処理剤との 組み合わせで使 用する. (2) 落水もしくは 浅水で使用する. (3) 処理後の灌水 は48~72時間経 過後に行なう. (4) 処理後2日以 内に降雨が予想 される場合は使 用をさしひかえ る.
	④ BAS-521 水和 〔Ⅱ-6-(1) Ⅱ-6-(9) と併用. (グラスゴン)	茎 葉 兼 土 壌 処 理	全域の早期・ 普通期.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・オモダカ・ ヘラオモダカ・ク ログワイ・セリ・ シズイ・エゾノサ ヤヌカグサ・キシ ュウスズメノヒエ. (但し、ミズガヤ ツリは寒地を除 く。オモダカは 寒冷地のみ。ヘ ラオモダカは寒 冷地北部以北の み。クログワイ は寒冷地北部・ 温暖地東部普通 期のみ。セリは 寒冷地北部・温 暖地の普通期・	田植前後土壌処理 した場合. +25~+40(ノビ エ5.5Lまで). (但し、寒地はノ ビエ3.5Lまで. キシュウスズメ ノヒエは+14~ +26. ホタルイ; 花茎抽 出始まで. ウリカワ; 6Lま で. (但し、寒地は4 Lまで。寒冷地 は5Lまで.) ミズガヤツリ; 5 Lまで. オモダカ; 矢じり 葉4枚まで. ヘラオモダカ; 4	50g/a (但し、キシ ュウス ズメノヒ エは50~ 70g/a.)	砂壤土~埴 土(2cm/ 日以下). (但し、砂 壤土は寒 冷地・温 暖地普通 期・暖地 のみ。暖 地早期の 砂壤土は (1.5cm/ 日以下). 温暖地東 部早期は 埴土~埴 土。温暖 地西部早 期は埴土 ~埴土 (1cm/	(1) 前処理剤との 組み合わせで使 用する. (2) 落水もしくは 浅水で使用する. (3) 処理後の灌水 は48~72時間経 過後に行なう. (4) 処理後2日以 内に降雨が予想 される場合は使 用をさしひかえ る. (5) 著しい多雨条 件では除草効果 が低下する場合 があるので使用 はさしひかえる. (6) 散布は水稻に なべくかから ないようにする.

区分	薬剤名	処理	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
II I 5. 適用時期拡大(つづき)	④ BAS-521 水和 (つづき)			暖地のみ、エゾノサヤスカグサは寒地のみ、シズイは寒冷地北部のみ、キシウスズメノヒエは温暖地東部のみ。	Lまで。 クログワイ；発生盛期（草丈20cm以下）。 セリ；増殖初期～盛期。 シズイ；草丈20～30cm。 エゾノサヤスカグサ；1～4L（草丈20cm以下）。 キシウスズメノヒエ；草丈15～20cmまで。		日以下）。	(7) <u>クログワイ防除はクログワイに有効な前処理剤との組み合わせで使用する。</u>
	⑤ CG-SW ①D粒 (クサホープD)	土壌処理	寒冷地・温暖地東部の普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・アオミドロ・表層剥離。 〔但し、ヘラオモダカは寒冷地のみ、ヒルムシロは寒冷地北部のみ。〕	田植前後土壌処理した場合。 +10～+20（ノビエ1.5Lまで）。 〔但し、寒冷地北部は+10～+15（ノビエ1.5Lまで）。〕 ホタルイ・ヘラオモダカ；発生始まで。 ウリカワ・ミズガヤツリ；2Lまで。 〔但し、寒冷地南部・温暖地のミズガヤツリは発生始まで。〕 ヒルムシロ；発生期。 アオミドロ・表層剥離；発生前～始。	300g/a	砂壤土～埴土（2cm/日以下）。 〔但し、砂壤土は寒冷地を除く。〕	(1) 前処理剤との組み合わせで使用する。 (2) 著しい高温条件下の砂壤土水田ではクロロシスの発生することがあるので注意する。
	⑥ DPX-84 ①粒 〔II-6-(1) II-6-(2) II-6-(3) と併用。〕	土壌処理	寒冷地南部・温暖地の早期・普通期。 〔但し、暖地の普通期はオモダカ・クログワイのみ適用。オモダカ；発生始まで。クログワイ；発生始。埴土～埴土（1cm/日以下）。〕	一年生非イネ科・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・クログワイ・ヒルムシロ・セリ。 〔但し、オモダカは温暖地東部早期を除く。ヘラオモダカは寒冷地南部のみ。クログワイは温暖地の普通期のみ、ヒルムシロは温暖地東部普通期のみ、セリは寒冷地南部・温暖地東部普通期のみ。〕	田植前後土壌処理した場合。 +15～+20。 〔但し、クログワイは+20～+25→+40～+45（2回処理）。〕 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ；2Lまで。 〔但し、温暖地西部早期のホタルイは3Lまで。温暖地西部のミズガヤツリは3Lまで。〕 オモダカ；発生始まで。 クログワイ；発生盛～揃まで。 〔但し、温暖地東部普通期は発生始。〕 ヒルムシロ；発生	300g/a	埴土～埴土（2cm/日以下）。 〔但し、温暖地西部は（1cm/日以下）。温暖地西部普通期は砂壤土（1cm/日以下）を含む。〕	(1) 前処理剤との組み合わせで使用する。 (2) 著しい多雨条件下では、除草効果が低下する場合がありますので、使用はさしひかえる。 (3) オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで使用する。 (4) オモダカに有効な剤との組み合わせで、連年施用することによりさらに効果が向上する（温暖地東部普通期・暖地普通期）。 (5) クログワイ防除はクログワイに有効な剤との

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ ― 5. 適用時期 拡大(つづき)	⑥ DPX-84 ①粒 (つづき)				前・ セリ; 再生始.			組み合わせで使用 する. (6) クログワイ徹 底防除には2回 散布の連年施用 する(温暖地の 普通期).
	⑦ DPX-84 A ①粒 〔Ⅱ-6-(1) と併用. (ウルフ17)]	土 壌 処 理	寒冷地南部・ 温暖地の早 期・普通期.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・オモダカ・ ヘラオモダカ・ク ログワイ・ヒルム シロ・コウキヤガ ラ. 〔但し、オモダカ は温暖地東部の 普通期のみ、ヘ ラオモダカは温 暖地西部の普通 期のみ、クログ ワイは温暖地普 通期のみ、ヒル ムシロは寒冷地 南部・温暖地東 部普通期のみ、 コウキヤガラは 温暖地東部の早 期のみ.〕	田植前後土壌処理 した場合. +15~+20(ノビ エ2Lまで). ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ; 2Lまで. オモダカ・ヘラオ モダカ・クログワ イ; 発生始まで. ヒルムシロ; 発生 期. コウキヤガラ; 発 生始~盛まで.	300 g/a	砂壤土~埴 土(2 cm/ 日以下). 〔但し、温 暖地西部 の普通期 は(1.5 cm /日以下). 温暖地西 部の早期 は埴壤土 ~埴土 (1 cm/ 日以下).〕	(1) 前処理剤との 組み合わせで使 用する. (2) 処理後24時間 以内から1日50 mm以上の降雨が 連続することが 予想される場合 は使用をさしひ かえる. (3) オモダカ防除 はオモダカに有 効な剤との組み 合わせで使用する. (4) コウキヤガラ 防除は、コウキ ヤガラに有効な 剤との組み合わせ で使用する. (5) クログワイ防 除はクログワイ に有効な剤との 組み合わせで使 用する. (6) クログワイに 有効な剤との組 み合わせで連年 施用することに よりさらに効果が 向上する(温 暖地普通期).
	⑧ MSS-148 ①粒 (ピリカーナ L*)	土 壌 処 理	寒冷地・温 暖地東部の 普通期.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ. 〔但し、ウリカワ は寒冷地のみ、 ミズガヤツリは温 暖地東部のみ.〕	田植前後土壌処理 した場合. +20~+25(ノビ エ2Lまで). ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ; 発生始まで. 〔但し、温暖地東 部のホタルイは 2Lまで.〕	300 g/a	砂壤土~埴 土(2 cm/ 日以下). 〔但し、寒 冷地は砂 壤土を除 く.〕	(1) 前処理剤との 組み合わせで使 用する.
	⑨ NC-311 粒 〔Ⅱ-6-(1) Ⅱ-6-(2) Ⅱ-6-(3) と併用. (シリウス)]	土 壌 処 理	温暖地以北 の早期・普 通期. 〔但し、暖 地の普通 期はクロ グワイの み適用. クログワ イ; 発生	一年生非イネ科・ マツバイ・ホタル イ・ウリカワ・ミ ズガヤツリ・オモ ダカ・ヘラオモダ カ・クログワイ・ ヒルムシロ・セリ. 〔但し、ミズガヤ ツリは寒地を除 く、オモダカは	田植前後土壌処理 した場合. +12~+20. 〔但し、クログワ イは+20~+25 →+35~+40 (2回処理).〕 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ・ オモダカ・ヘラオ	300 g/a	砂壤土~埴 土(2 cm/ 日以下). 〔但し、寒 地の砂壤 土は(1.5 cm/日以下). 温 暖地東部 早期・温	(1) 前処理剤との 組み合わせで使 用する. (2) 著しい多雨条 件下では、除草 効果が低下する 場合があるので、 使用はさしひか える. (3) オモダカ防除

区分	薬剤名	処理	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ 5. 適用時期拡大(つづき)	⑨ NC-311 粒 (つづき)		始. 埴土 (1cm/ 日以下).	寒冷地北部・温暖地普通期・温暖地西部早期のみ。ヘラオモダカは寒地・寒冷地北部・温暖地東部普通期のみ。クログワイは温暖地の普通期のみ。ヒルムシロは寒冷地のみ。セリは寒冷地北部・温暖地のみ。	モダカ; 2Lまで。 〔但し, 温暖地西部普通期のミズガヤツリは3Lまで。温暖地西部のオモダカは発生期。〕 クログワイ; 発生盛期～前期。 〔但し, 温暖地東部普通期は発生始。〕 ヒルムシロ; 発生期。 セリ; 再生前～増殖初。 〔但し, 寒冷地北部・温暖地東部は再生前～始。〕		暖地西部普通期は(1cm/日以下)。温暖地西部早期は埴土～埴土(1cm/日以下)。	は, オモダカに有効な剤との組み合わせで使用。 (4) クログワイ防除はクログワイに有効な剤との組み合わせで使用する。 (5) クログワイ徹底防除には2回散布の連年施用する(温暖地の普通期)。
	⑩ NTN-806 ①粒 (クロアSM)	茎葉兼土壌処理	全域の早期・普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・アオミドロ・表層剥離。 〔但し, ミズガヤツリは寒地・暖地普通期を除く。ヘラオモダカは寒冷地以北のみ。ヒルムシロは温暖地東部を除く。アオミドロ・表層剥離は寒地・温暖地早期を除く。〕	田植前後土壌処理した場合。 +20～+25(ノビエ3Lまで)。 〔但し, 寒冷地以北はイネ5L期以降。寒地はノビエ2Lまで。〕 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 3Lまで。 〔但し, 寒地・温暖地早期・温暖地東部普通期のホタルイは2Lまで。寒冷地北部・温暖地東部のミズガヤツリは発生始まで。寒地のヘラオモダカは2Lまで。〕 ヒルムシロ・アオミドロ・表層剥離; 発生期。	300 g/a	砂壤土～埴土(2cm/日以下)。 〔但し, 寒地・温暖地東部の砂壤土は(1.5cm/日以下)。温暖地西部普通期の砂壤土は(1cm/日以下)。寒冷地北部は砂壤土を除く。温暖地西部早期は埴土～埴土(1cm/日以下)。暖地は(1.5cm/日以下)。	(1) 前処理剤との組み合わせで使用する。 (2) 低気温および低水温時は薬害の危険性があるので使用はさける。 (3) トリアジン系除草剤の使用上の注意を守る。 (4) MCP混合剤の注意事項を守る。 (5) ホタルイ・ミズガヤツリに有効な前処理剤と組み合わせる。
	⑪ YH-455 粒 (エイトパンチ)	茎葉兼土壌処理	寒地・寒冷地・温暖地の普通期・暖地の早期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・アオミドロ・表層剥離。 〔但し, ミズガヤツリは寒地を除く。ヘラオモダカは寒地・寒冷地北部のみ。ヒルムシロは寒冷地南部・暖地を除く。アオミドロ・表層剥離は	田植前後土壌処理した場合。 +15～+25(ノビエ2.5Lまで)。 〔但し, 寒地はノビエ2Lまで。温暖地西部はノビエ3Lまで。〕 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 3Lまで。 〔但し, 温暖地東部以北のホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリは	300 g/a	砂壤土～埴土(2cm/日以下)。 〔但し, 寒地・寒冷地北部は砂壤土を除く。温暖地西部以西は(1.5cm/日以下)。	(1) 前処理剤との組み合わせで使用する。 (2) 泥炭質土壌ではウリカワに対する効果が低下することがある。 (3) 著しい高温条件下の砂壤土水田ではクロシスの発生することがあるので注意する。 (4) トリアジン系除草剤の使用上の注意を守る。

区分	薬剤名	処理	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ 5. 適用時期拡大 (つづき)	⑪ YH-455 粒 (つづき)			寒冷地南部を除く。	2 Lまで。寒地のヘラオモダカは2 Lまで。 ヒルムシロ・アオミドロ・表層剥離；発生期。			(5) ミズガヤツリ防除はミズガヤツリに有効な前処理剤との組み合わせで使用す。
	⑫ DPX-84 粒 (Ⅱ-6-(1) Ⅱ-6-(3) と併用。)	土壌処理	温暖地東部以北の早期・普通期。 〔但し、温暖地東部の普通期は低温時移植地帯に限る。温暖地西部(四国)の普通期はオモダカのみ適用；発生始まで。壌土～埴土(1 cm/日以下)。〕	一年生非イネ科・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ・クログワイ・ヒルムシロ・アオミドロ・表層剥離・セリ・シズイ。 〔但し、ミズガヤツリ・オモダカは寒地を除く。ヘラオモダカ・アオミドロ・表層剥離は寒地のみ。クログワイ・シズイは寒冷地北部のみ。ヒルムシロは寒冷地を除く。セリは寒地・寒冷地北部のみ。〕	田植前後土壌処理した場合。 +15～+20。 〔但し、クログワイは+20～+25→+45～+50の2回散布。シズイは+20→+40の2回散布。〕 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ；2 Lまで。 オモダカ・ヒルムシロ；発生始まで。 〔但し、温暖地東部は発生前。〕 クログワイ；発生盛期。 セリ；再生始まで。 シズイ；草丈0～3 cmまで。 アオミドロ・表層剥離；発生前～始。	300 g/a	壌土～埴土(2 cm/日以下)。 〔但し、寒地は砂壌土(1.5 cm/日以下)を含む。〕	(1) 前処理剤との組み合わせで使用する。 (2) 著しい多雨条件では、除草効果が低下する場合があるので、使用はさしひかえる。 (3) オモダカ防除はオモダカに有効な剤との組み合わせで使用す。 (4) クログワイ防除はクログワイに有効な剤との組み合わせで使用す。 (5) <u>クログワイ徹底防除には2回散布で連年施用する(寒冷地北部)。</u>
	⑬ DPX-84 A粒 (Ⅱ-6-(1) と併用。 (ウルフ25))	土壌処理	寒地・寒冷地。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ・クログワイ・ヒルムシロ・アオミドロ・表層剥離・エゾノサヤスカグサ・シズイ・コウキヤガラ。 〔但し、ミズガヤツリ・クログワイは寒冷地のみ。シズイは寒冷地北部のみ。オモダカ・コウキヤガラは寒冷地北部のみ。アオミドロ・表層剥離・エゾノサヤスカグサは寒地のみ。〕	田植前後土壌処理した場合。 +15～+20(ノビエ2 Lまで)。 〔但し、寒地はノビエ1.5 Lまで。〕 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ；2 Lまで。 オモダカ；発生始まで。 クログワイ；発生期。 ヒルムシロ；発生期。 〔但し、寒地は発生始まで。〕 アオミドロ・表層剥離；発生前～始。 エゾノサヤスカグサ；1～4 L(草丈20 cm以下)。 シズイ；草丈2～3 cmまで。 コウキヤガラ；発生始～盛まで。	300 g/a	砂壌土～埴土(2 cm/日以下)。 〔但し、砂壌土は寒冷地南部を除く。寒地の砂壌土は(1.5 cm/日以下)。〕	(1) 前処理剤との組み合わせで使用する。 (2) 著しい多雨条件では、除草効果が低下する場合があるので、使用はさしひかえる。 (3) オモダカ防除はオモダカに有効な剤との組み合わせで使用す。 (4) コウキヤガラ防除は、コウキヤガラに有効な剤との組み合わせで使用す。 (5) クログワイ防除はクログワイに有効な剤との組み合わせで使用す。

区分	薬剤名	処理	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
II 5. 適用時期拡大(つづき)	⑭ DPX-84 M粒 (II-6-(1) と併用. (プッシュ25)	土壌処理	寒地・寒冷地 〔但し、温暖地東部の普通期はクログワイのみ適用。クログワイ；発生始。壇壇土～壇土(1cm/日以下)〕	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・クログワイ・ヒルムシロ・エゾノサヤヌカグサ・シズイ・セリ・アオミドロ・表層剥離。 〔但し、ミズガヤツリ・クログワイ・シズイ・セリは寒冷地のみ。エゾノサヤヌカグサ・アオミドロ・表層剥離は寒地のみ。〕	田植前後土壌処理した場合。 +15～+20。 ノビエ；2Lまで。 〔但し、寒地は1.5Lまで。〕 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ；2Lまで。 クログワイ・セリ；発生始まで。 ヒルムシロ；発生期。 〔但し、寒地は発生始まで。〕 エゾノサヤヌカグサ；1～4Lまで(草丈20cm以下)。 シズイ；草丈2～3cmまで。 アオミドロ・表層剥離；発生前～始。	300 g/a	壇土～壇土(2cm/日以下)。 〔但し、寒地は砂壇土(1.5cm/日以下)を含む。〕	(1) 前処理剤との組み合わせで使用。 (2) 著しい多雨条件では、除草効果が低下する場合があるので、使用はさしひかえる。 (3) クログワイ防除はクログワイに有効な剤との組み合わせで使用する。 (4) クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する(温暖地東部普通期)。
	⑮ DPX-84 M◎粒 (II-6-(1) と併用. (プッシュ17)	土壌処理	寒冷地南部。 〔但し、温暖地以西の普通期・暖地の早期はクログワイのみ適用；発生始。壇壇土～壇土(1cm/日以下)。但し、温暖地西部は砂壇土・壇土を含む。〕	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ。	田植前後土壌処理した場合。 +15～+20(ノビエ2Lまで)。 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ；2Lまで。	300 g/a	砂壇土～壇土(2cm/日以下)。	(1) 前処理剤との組み合わせで使用。 (2) 処理後24時間以内から1日50mm以上の降雨が連続することが予想される場合は使用をさしひかえる。 (3) クログワイ防除はクログワイに有効な剤との組み合わせで使用する。 (4) クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する(温暖地以西の普通期)。
II 6 (1) クログワイ対象	① BAS-521 水和		〔II-5-④の項参照〕(但し、連年施用については継続検討)					
	② DPX-84 A粒		〔II-3-⑬およびII-5-⑬の項参照〕(但し、連年施用については継続検討)					
	③ DPX-84 A◎粒		〔II-3-⑭およびII-5-⑦の項参照〕					
	④ DPX-84 B粒		〔VII-2-②の項参照〕(但し、連年施用については継続検討)					
	⑤ DPX-84 B◎粒		〔VII-2-③の項参照〕(但し、連年施用については継続検討)					

区分	薬 剤 名	処 理	適用地域	適用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ 6 (1) ク ロ グ ワ イ 対 象 (つづき)	⑥ DPX-84 CG粒		〔Ⅶ-1-④の項参照〕(但し, 連年施用については継続検討)					
	⑦ DPX-84 CG ^① 粒		〔Ⅶ-1-⑤の項参照〕(但し, 連年施用については継続検討)					
	⑧ DPX-84 M粒		〔Ⅱ-3-⑮およびⅡ-5-⑭の項参照〕					
	⑨ DPX-84 M ^① 粒		〔Ⅱ-3-⑮およびⅡ-5-⑮の項参照〕					
	⑩ DPX-84 SC粒		〔Ⅶ-2-④の項参照〕					
	⑪ DPX-84 SC ^① 粒		〔Ⅶ-2-⑤の項参照〕(但し, 連年施用については継続検討)					
	⑫ DPX-84 T粒		〔Ⅶ-2-⑮の項参照〕(但し, 連年施用については継続検討)					
	⑬ DPX-84 TD ^① 粒		〔Ⅶ-2-⑥の項参照〕					
	⑭ NC-311 B ^① 粒		〔Ⅶ-2-⑦の項参照〕(但し, 連年施用については継続検討)					
	⑮ NC-311 R粒		〔Ⅶ-2-⑩の項参照〕(但し, 連年施用については継続検討)					
	⑯ YH-3 粒		〔Ⅱ-2-②の項参照〕(但し, 連年施用については継続検討)					
	⑰ BAS-3510 Na ^① 液		〔Ⅱ-5-②の項参照〕					
	⑱ DPX-84 粒		〔Ⅱ-5-⑫の項参照〕					
Ⅱ 6 (2) オ モ ダ カ 対 象	⑲ DPX-84 ^① 粒		〔Ⅱ-5-⑥の項参照〕					
	⑳ NC-311 粒		〔Ⅱ-5-⑨の項参照〕					
	① BAS-521 粒		〔Ⅱ-5-③の項参照〕					
	② DPX-84 ^① 粒		〔Ⅱ-5-⑥の項参照〕					
	③ DPX-84 B ^① 粒		〔Ⅶ-2-③の項参照〕					
	④ DPX-84 TD ^① 粒		〔Ⅶ-2-⑥の項参照〕					
	⑤ NC-311 粒		〔Ⅱ-5-⑨の項参照〕(但し, 連年施用については継続検討)					
	⑥ NC-311 B ^① 粒		〔Ⅶ-2-⑦の項参照〕(但し, 連年施用については継続検討)					

区分	薬 剤 名	処 理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適 用 土 壤	使用上の注意
Ⅱ 6 (2) (つづき)	⑦ <u>NC-311</u> R粒		〔Ⅶ-2-⑪の項参照〕					
	⑧ <u>NCM-72</u> 粒		〔Ⅶ-1-⑯の項参照〕					
Ⅱ 6 (3) セ リ 対 象	① <u>DM-72B</u> 粒		〔Ⅶ-3-①の項参照〕					
	② <u>DM-72B</u> ①粒		〔Ⅶ-2-①の項参照〕					
	③ <u>DPX-84</u> 粒		〔Ⅱ-5-⑫の項参照〕					
	④ <u>DPX-84</u> ①粒		〔Ⅱ-5-⑥の項参照〕					
	⑤ <u>DPX-84</u> B粒		〔Ⅶ-2-②の項参照〕					
	⑥ <u>DPX-84</u> B①粒		〔Ⅶ-2-③の項参照〕					
	⑦ <u>NC-311</u> 粒		〔Ⅱ-5-⑨の項参照〕					
	⑧ <u>NC-311</u> BS粒		〔Ⅶ-2-⑩の項参照〕					
	⑨ <u>NC-311</u> T粒		〔Ⅶ-2-⑬の項参照〕					
Ⅱ 6 (4) ヒ ル ム シ ロ 対 象	① <u>DPX-84</u> B①粒		〔Ⅶ-2-③の項参照〕					
Ⅱ 6 (5) シ ズ イ 対 象	① <u>DM-72B</u> 粒		〔Ⅶ-3-①の項参照〕					
	② <u>KUH-883</u> 粒		〔Ⅶ-1-⑩の項参照〕					
	③ <u>NC-311</u> BCG粒		〔Ⅶ-2-⑧の項参照〕					
	④ <u>NC-311</u> BS粒		〔Ⅶ-2-⑩の項参照〕					
	⑤ <u>NC-311</u> CG粒		〔Ⅶ-1-⑫の項参照〕					

区分	薬 剤 名	処 理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ 6 (5) (つづき)	⑥ <u>NC-311</u> R粒		〔Ⅶ-2-⑮の項参照〕					
Ⅱ 6 (6) エゾノサヤヌカグサ対象	① <u>KUH-883</u> 粒		〔Ⅶ-1-⑩の項参照〕					
	② <u>NC-311</u> BCG粒		〔Ⅶ-2-⑧の項参照〕					
	③ <u>NC-311</u> BS粒		〔Ⅶ-2-⑩の項参照〕					
	④ <u>NC-311</u> CG粒		〔Ⅶ-1-⑫の項参照〕					
	⑤ <u>NC-311</u> T粒		〔Ⅶ-2-⑬の項参照〕					
Ⅱ 6 (7) クサネム対象	① <u>DPX-84</u> SC①粒		〔Ⅶ-2-⑤の項参照〕					
	② <u>DPX-84</u> TD①粒		〔Ⅶ-2-⑥の項参照〕					
	③ <u>NC-311</u> B①粒		〔Ⅶ-2-⑦の項参照〕					
	④ <u>NC-311</u> BCG粒		〔Ⅶ-2-⑧の項参照〕					
	⑤ <u>NC-311</u> BS粒		〔Ⅶ-2-⑩の項参照〕					
Ⅱ 6 (8) コウキヤガラ対象	① <u>DPX-84</u> SC粒		〔Ⅶ-2-④の項参照〕					
	② <u>DPX-84</u> TD①粒		〔Ⅶ-2-⑥の項参照〕					
	③ <u>NC-311</u> BCG粒		〔Ⅶ-2-⑧の項参照〕(但し、連年施用については継続検討)					
	④ <u>NC-311</u> BS粒		〔Ⅶ-2-⑩の項参照〕(但し、連年施用については継続検討)					
	⑤ <u>NC-311</u> T粒		〔Ⅶ-2-⑬の項参照〕(但し、連年施用については継続検討)					
Ⅱ 6 (9) メノヒエ対象	① <u>BAS-521</u> 水和		〔Ⅱ-5-④の項参照〕					

区分	薬剤名	処理	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅲ 1. 湛 水 直 播	① DPX-84 A①粒 (ウルフ17)	土 壌 処 理	寒冷地南部・ 温暖地.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・ヒルムシ ロ・セリ. 〔但し、ヒルムシ ロ・セリは温暖 地東部のみ。〕	イネ1L～ノビエ 2Lまで. ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ; 2Lまで. 〔但し、寒冷地南 部は発生始まで〕 ヒルムシロ; 発生 期. セリ; 再生前～始.	300 g/a	壤土～埴土 (2 cm/日 以下). 〔但し、温 暖地西部 は(1cm/ 日以下).〕	(1) ホタルイ多発 田では、ホタル イに有効な中・ 後期剤との組み 合わせて使用する.
	② DPX-84 M粒 (プッシュ25)	土 壌 処 理	寒地・寒冷 地北部.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・ヘラオモ ダカ・ヒルムシロ・ アオミドロ・表層 剥離. 〔但し、ミズガヤ ツリは寒地を除 く。ヒルムシロ・ アオミドロ・表 層剥離は寒地の み。〕	イネ1L～ノビエ 2Lまで. ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ・ ヘラオモダカ; 2 Lまで. ヒルムシロ; 発生 期. アオミドロ・表層 剥離; 発生前.	300 g/a	壤土～埴土 (2 cm/日 以下).	
Ⅲ 2. 乾 田 直 播	① DPX-84 A①粒 (ウルフ17)	土 壌 処 理	温暖地.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ.	入水後2日～ノビ エ2Lまで. 〔但し、温暖地東 部は入水後4日 ～ノビエ2Lま で.〕	300 g/a	壤土～埴土 (2.5 cm/ 日以下). 〔但し、温 暖地東部 は埴壤土 ～埴土 (2 cm/ 日以下).〕	
Ⅳ 畦 畔 雑 草	① BGX-816 水溶 (インパルス*)	茎 葉 処 理	全域.	全草種.	雑草生育期(草丈 30cm以下).	40～60 g/a	全土壌.	(1) ノリ面散布は さける. (2) 流入、飛散等 による水稲への 薬害に注意する.
	② MON-8794 液 (ポラリス)	茎 葉 処 理	全域.	全草種.	雑草生育期(草丈 20～30cm)	寒冷地以北; 30～50 ml/a 温暖地以西; 40～50 ml/a 少量散布 (希釈水量 2.5 l/a) でも有効 (全域).	全土壌.	(1) ノリ面散布は さける. (2) 流入、飛散等 による水稲への 薬害に注意する. (3) 少量散布の場 合は専用の散布 機を用いる.
	③ MW-831 水溶 (ハービエー ス)	茎 葉 処 理	全域.	全草種.	雑草生育期(草丈 30cm以下).	50～75 g/a	全土壌.	(1) ノリ面散布は さける. (2) 流入、飛散等 による水稲への 薬害に注意する.

区分	薬剤名	処理	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
IV 畦畔 雑草(つぎ)	④ SC-224 液 (タッチダウン)	茎葉 処理	寒冷地以西.	全草種.	雑草生育期(草丈 20~30cm)	m ^l /a 20~40	全土壌.	(1) ノリ面散布は さける. (2) 流入, 飛散等 による水稲への 被害に注意する.
	⑤ SL-236 ①乳	茎葉 処理	全域.	一年生イネ科雑草・ キシウウスズメノ ヒエ. (但し, キシュウ スズメノヒエは 温暖地以西.)	雑草生育期(草丈 30cm以下)	寒冷地以北・ 温暖地西部; 20~40 m ^l /a. 温暖地東部; 20~30 m ^l /a. 暖地; 30~ 40m ^l /a. キシウウス ズメノヒエ に対して20 日間隔で20 m ^l →20m ^l の2回使用 をしてもよい(暖地).	全土壌.	(1) ノリ面散布は さける. (2) 流入, 飛散等 による水稲への 被害に注意する.
V 耕起 前 雑草	① BGX-816 水溶 (インパルス*)	茎葉 処理	寒冷地以西.	一年生雑草.	耕起前20日以前 (雑草生育期).	40~60g/a	全土壌.	(1) 周辺の作物に 飛散しないよう に注意する.
	② MW-831 水溶 (ハービエース)	茎葉 処理	寒冷地以西.	一年生雑草.	耕起前20日以前 (雑草生育期).	温暖地以北; 30~75 g/a. 暖地; 50~ 75g/a.	全土壌.	(1) 周辺の作物に 飛散しないよう に注意する.
VI 休 耕 田	① SC-224 液 (タッチダウン)	茎葉 処理	寒冷地・温 暖地.	全草種.	雑草生育期(草丈 30cm以下).	寒冷地; 40 ~80m ^l / a. 温暖地; 60 ~80m ^l / a.	全土壌.	(1) 周辺の作物に 飛散しないよう に注意する.
VII 1. 初期一 発処理剤	① CG-SW ①D粒 (クサホープ D)	土壌 処理	寒冷地以西 の早期・普 通期.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・ヘラオモ ダカ・ヒルムシロ・ アオミドロ・シャ ジクモ・ウキクサ・ 表層剥離. (但し, ヘラオモ ダカは寒冷地・ 温暖地東部のみ. ヒルムシロは温 暖地西部の早期・ 暖地を除く. 表 層剥離は暖地を 除く. シャジク モは温暖地東部 のみ. ウキクサ は温暖地西部の み.)	+3~ノビエ2L まで. (但し, 寒冷地南 部の砂壤土水田 では+7~ノビ エ2Lまで. ホタルイ・ウリカ ワ; 2Lまで. (但し, 寒冷地・ 温暖地東部のホ タルイは発生始 まで. ミズガヤツリ・ヘ ラオモダカ; 発生 始まで. ヒルムシロ; 発生 期. アオミドロ・シャ ジクモ・ウキクサ・表 層剥離; 発生前.	300 g/a	砂壤土~埴 土(2cm/ 日以下). (但し, 砂 壤土は温 暖地西部 の早期を 除く. 暖 地の早期 は(1cm/ 日以下). 暖地普通 期の砂壤 土は(1 cm/日以下).	(1) 泥炭質土壌で は, ウリカワに 対する効果が低 下することがあ る. (2) 著しい高温条 件下の砂壤土水 田ではクロロシ スの発生するこ とがあるので注 意する. (3) 田植前に生育 したミズガヤツ リは, 完全に防 除してから使用 する.

区分	薬剤名	処理	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅶ 1. 初期一発処理剤(つづき)	② DPX-84 BM粒	土壌処理	寒地・寒冷地北部.	一年生雑草・マツパイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ。 〔但し、ミズガヤツリは寒冷地北部のみ。〕	+5〜ノビエ2 L まで。 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2 L まで。 ヒルムシロ; 発生期。	300 g/a	壤土〜埴土 (2 cm/日以下)。 〔但し、寒地は砂壤土 (1.5 cm/日以下) を含む。〕	(1) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえる。
	③ DPX-84 BM①粒	土壌処理	寒冷地南部以西の普通期。	一年生雑草・マツパイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・アオミドロ・表層剥離・セリ。 〔但し、ヘラオモダカは寒冷地南部のみ。ヒルムシロ・セリは温暖地東部普通期のみ。アオミドロ・表層剥離は寒冷地・温暖地西部普通期のみ。〕	+5〜ノビエ2 L まで。 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ; 2 L まで。 〔但し、寒冷地南部は発生始まで。〕 ヘラオモダカ; 発生始。 ヒルムシロ; 発生期。 アオミドロ・表層剥離; 発生前。 セリ; 再生前〜始。	300 g/a	壤土〜埴土 (2 cm/日以下)。 〔但し、温暖地西部以西は (1.5 cm/日以下)。 暖地は砂壤土 (1.5 cm/日以下) を含む。〕	(1) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえる。 (2) 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用する。
	④ DPX-84 CG粒 〔Ⅱ-6-(1)と併用。 (ゴルボ25)〕	土壌処理	寒地・寒冷地北部.	一年生雑草・マツパイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ・クログワイ・ヒルムシロ・セリ・エゾノサヤスカグサ・シズイ・アオミドロ・表層剥離。 〔但し、ミズガヤツリ・オモダカ・クログワイ・シズイは寒冷地北部のみ。エゾノサヤスカグサは寒地のみ。〕	+5〜ノビエ1.5 L まで。 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2 L まで。 オモダカ; 発生始まで。 クログワイ; 発生始。 ヒルムシロ: 発生期。 セリ; 再生前〜始。 エゾノサヤスカグサ; 1〜4 L まで (草丈20cm以下)。 シズイ; 草丈0〜3 cm。 アオミドロ・表層剥離; 発生前。	300 g/a	壤土〜埴土 (2 cm/日以下)。 〔但し、寒地は砂壤土 (1.5 cm/日以下) を含む。〕	(1) 著しい多雨条件下では除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえる。 (2) 植付精度不良で、根が露出する水田では使用しない。 (3) オモダカ防除はオモダカに有効な剤との組み合わせで使用する。 (4) シズイ防除は、シズイに有効な剤との組み合わせで使用する。 (5) クログワイ防除はクログワイに有効な剤との組み合わせで使用する。
	⑤ DPX-84 CG①粒 〔Ⅱ-6-(1)と併用。 (ゴルボ17)〕	土壌処理	全域の早期・普通期。	一年生雑草・マツパイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ・クログワイ・ヒルムシロ・セリ・アオミドロ・表層剥離。 〔但し、ウリカワ・ミズガヤツリは	+3〜ノビエ1.5 L まで。 〔但し、寒冷地南部の砂壤土では +7〜ノビエ1.5 L まで。暖地は +5〜ノビエ1.5 L まで。〕 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ。	300 g/a	砂壤土〜埴土 (2 cm/日以下)。 〔但し、温暖地は砂壤土を除く。温暖地西部早期は (1 cm/日以	(1) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえる。 (2) 植付精度不良で根が露出する水田では使用しない。 (3) オモダカ防除

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適用 草 種	処 理 時 期	使用 量	適用土壌	使用上の注意
VII 1. 初期一発処理剤 (つづき)	⑤ DPX-85 CG①粒 (つづき)			寒地をのぞく。 オモダカは寒冷地・温暖地東部普通期のみ。ヘラオモダカは寒冷地以北のみ。クログワイは温暖地以西の普通期のみ。ヒルムシロは温暖地東部早期・暖地を除く。セリは寒冷地北部・温暖地東部普通期・温暖地西部のみ。アオミドロ・表層剥離は寒冷地北部・温暖地東部普通期・暖地を除く。	ヘラオモダカ; 2 L まで。 〔但し、寒冷地北部・温暖地西部早期のホタルイ、寒冷地北部のウリカワ・ヘラオモダカは発生始まで。オモダカ; 発生始まで。クログワイ; 発生始。ヒルムシロ; 発生期。〔但し、寒地のヒルムシロは2 L まで。セリ; 再生前～始。アオミドロ・表層剥離; 発生前。〕		下)。暖地早期は壇壤土～壇土(1 cm/日以下)。暖地普通期は壇壤土～壇土。	は、オモダカに有効な剤との組み合わせで使用。 (4) <u>田植前に生育したミズガヤツリは完全に防除してから使用する。</u> (5) <u>クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで使用する。</u>
	⑥ DPX-84 M粒 (プッシュ25)	土 境 処理	温暖地東部以北の普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・エゾノサヤヌカグサ・アオミドロ・表層剥離・セリ。 〔但し、ミズガヤツリは寒地を除く。ヘラオモダカは寒冷地以北のみ。ヒルムシロ・エゾノサヤヌカグサ・セリは寒地のみ。アオミドロ・表層剥離は寒冷地以北のみ。〕	+5～ノビエ2 L まで。 〔但し、寒地・寒冷地は+7～ノビエ2 L まで。ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2 L まで。ヒルムシロ; 発生期。アオミドロ・表層剥離; 発生前。エゾノサヤヌカグサ; 1～4 L (草丈20cm以下)。セリ; 再生前～始。〕	300 g/a	砂壤土～壇土(2 cm/日以下)。 〔但し、寒地の砂壤土は(1.5 cm/日以下)。寒冷地は砂壤土を除く。〕	(1) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合がありますので、使用はさしひかえる。
	⑦ DPX-84 SKH⑩粒	土 境 処理	寒地・寒冷地北部。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・アオミドロ・表層剥離・セリ。 〔但し、ウリカワ・アオミドロ・表層剥離・セリは寒地のみ。ミズガヤツリは寒冷地のみ。〕	+5～ノビエ2 L まで。 〔但し、寒地はノビエ1.5 L まで。ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2 L まで。ヒルムシロ; 発生期。〔但し、寒冷地は発生始まで。アオミドロ・表層剥離; 発生前。セリ; 再生前～始。〕	300 g/a	壇土～壇土(2 cm/日以下)。	(1) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合がありますので、使用はさしひかえる。

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
VII 1. 初期一発処理剤(ついき)	⑧ HSW-871 粒 (クサホープ D 95)	土壌処理	寒地・寒冷地北部.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・アオミドロ・表層剥離. 〔但し、ミズガヤツリは寒冷地北部のみ。ヒルムシロは寒地のみ。〕	+3〜ノビエ 1.5 L まで. ホタルイ・ウリカワ・ヘラオモダカ; 2 L まで. 〔但し、寒冷地北部は発生始まで。〕 ミズガヤツリ; 発生始まで. ヒルムシロ; 発定期. アオミドロ・表層剥離; 発生前〜始.	300 g/a	壤土〜埴土 (2 cm/日以下). 〔但し、寒地は砂壤土 (1.5 cm/日以下) を含む。〕	(1) 泥炭質土壌では、ウリカワに対する効果が低下することがある。 (2) 著しい高温条件下ではクロロシスの発生することがあるので注意する。
	⑨ KH-249 粒	土壌処理	温暖地以北の普通期.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・アオミドロ・表層剥離. 〔但し、ミズガヤツリは温暖地のみ。ヘラオモダカは寒冷地以北のみ。〕	+3〜ノビエ 1.5 L まで. ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 発生始まで. 〔但し、温暖地西部のホタルイは 2 L まで。〕 アオミドロ・表層剥離; 発生前〜盛期.	300 g/a	砂壤土〜埴土 (2 cm/日以下). 〔但し、砂壤土は寒地・温暖地西部を除く。温暖地西部は (1 cm/日以下)。〕	
	⑩ KUH-883 粒 〔II-6-(5) II-6-(6) と併用。 (ウルフェース)	土壌処理	寒地・寒冷地北部.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・エゾノサヤヌカグサ・シズイ・セリ・アオミドロ・表層剥離. 〔但し、ミズガヤツリ・シズイは寒冷地北部のみ。セリ・エゾノサヤヌカグサは寒地のみ。〕	+5〜ノビエ 2 L まで. ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2 L まで. ヒルムシロ; 発定期. エゾノサヤヌカグサ; 発生始まで. シズイ; 草丈 2〜3 cm まで. セリ; 再生前〜始. アオミドロ・表層剥離; 発生始. 〔但し、寒冷地北部は発生前。〕	300 g/a	砂壤土〜埴土 (2 cm/日以下). 〔但し、寒地の砂壤土は (1.5 cm/日以下)。〕	(1) 著しい多雨条件下では除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえる。
	⑪ MT-032 粒 (エリードン)	土壌処理	全域の早期・普通期.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ. 〔但しウリカワは温暖地東部を除く。ミズガヤツリは寒地・温暖地普通期を除く。ヘラオモダカは寒冷地北部以北のみ。〕	+3〜ノビエ 1.5 L まで. ホタルイ・ウリカワ・ヘラオモダカ; 2 L まで. 〔但し、寒冷地北部のホタルイ・ヘラオモダカ、寒冷地のウリカワは発生始まで。〕 ミズガヤツリ; 発生始まで.	300 g/a	砂壤土〜埴土 (2 cm/日以下). 〔但し、砂壤土は寒地・暖地早期 (1.5 cm/日以下)。温暖地東部普通期のみ。温暖地西部早期は (1 cm/日以下)。温暖地西部	(1) 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用する。

区分	薬剤名	処理	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
VII 1. 初期一発処理剤(つづき)	⑪ MT-032 粒 (つづき)						普通期・暖地は(1.5 cm/日以下).	
	⑫ NC-311 CG 粒 (Ⅱ-6-(5) と併用. (ライザー-20))	土壌処理	温暖地東部以北の早期・普通期.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・エゾノサヤヌカグサ・シズイ・セリ・アオミドロ・表層剥離. (但し、ミズガヤツリは寒地を除く。ヘラオモダカは寒冷地以北のみ。ヒルムシロは温暖地東部早期を除く。エゾノサヤヌカグサは寒地のみ。シズイは寒冷地北部のみ。セリは寒冷地南部を除く。アオミドロ・表層剥離は寒地・温暖地東部普通期のみ.)	+5 ~ ノビエ 2 L まで. (但し、寒冷地以北・温暖地東部の早期は 1.5 L まで. ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 発生始まで. (但し、寒地のホタルイ・ウリカワ・ヘラオモダカ、温暖地東部のホタルイ・ミズガヤツリは 2 L まで. ヒルムシロ; 発生期. エゾノサヤヌカグサ; 発生始. シズイ; 発生前~始. セリ; 再生前~始. アオミドロ・表層剥離; 発生前.	300 g/a	砂壤土~埴土(2 cm/日以下). (但し、寒冷地は砂壤土を除く。寒地の砂壤土は(1.5 cm/日以下).)	(1) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので、使用はさしひかえる。 (2) 植付精度不良で根が露出する水田では使用しない。 (3) シズイ防除は、シズイに有効な剤との組み合わせで使用する。
	⑬ NC-311 CG ①粒 (ライザー-15)	土壌処理	温暖地西部以西の早期・普通期. (但し、暖地の早期を除く.)	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヒルムシロ・セリ・アオミドロ・表層剥離. (但し、ヒルムシロは温暖地西部早期・暖地普通期のみ。セリは暖地を除く。アオミドロ・表層剥離は温暖地西部普通期のみ.)	+3 ~ ノビエ 1.5 L まで. ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ; 2 L まで. (但し、温暖地西部のホタルイ・ウリカワは発生始まで. ヒルムシロ; 発生期. セリ; 再生前~始. アオミドロ・表層剥離; 発生前.	300 g/a	埴土~埴土(2 cm/日以下). (但し、温暖地西部早期は(1 cm/日以下). 暖地普通期は埴土~埴土(1 cm/日以下).)	(1) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえる。 (2) 植付精度不良で根が露出する水田では使用しない。 (3) 田植前に生育したミズガヤツリは完全に防除してから使用する。
	⑭ NC-311 CG-D 粒	土壌処理	寒地・寒冷地.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・エゾノサヤヌカグサ・セリ・アオミドロ・表層剥離. (但し、ミズガヤツリは寒地を除く。ヘラオモダカ・エゾノサヤヌカグサ・セリは寒地のみ.)	+5 ~ ノビエ 1.5 L まで. ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ; 発生始まで. (但し、寒地のホタルイ・ウリカワは 2 L まで. ヘラオモダカ; 2 L まで. ヒルムシロ; 発生期. エゾノサヤヌカグサ; 発生始. セリ; 再生前~始. アオミドロ・表層剥離; 発生前.	300 g/a	埴土~埴土(2 cm/日以下). (但し、寒地は砂壤土(1.5 cm/日以下)を含む.)	(1) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえる。

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適 用 土 壌	使用上の注意
VII 1. 初期一発 処理剤(つづき)	⑮ NC-311 CG①-D 粒	土 壌 処 理	温暖地西部 の普通期.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・アオミド ロ・表層剥離.	+3〜ノビエ1.5 Lまで. ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ; 2Lまで. アオミドロ・表層 剥離; 発生前.	300 g/a	壤土〜埴土 (1 cm/日 以下).	(1) 著しい多雨条 件では除草効果 が低下する場合 があるので使用 はさしひかえる.
	⑯ NCM-72 粒 { II-6-(2) と併用. (カルコーン*) }	土 壌 処 理	全域の早期・ 普通期.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・ヘラオモ ダカ・ヒルムシロ・ セリ・アオミドロ・ 表層剥離. { 但し, ミズガヤ ツリは寒地を除 く. ヘラオモダ カは寒冷地以北 ・温暖地東部普 通期のみ. オモ ダカは寒冷地北 部・温暖地の普 通期のみ. ヒル ムシロは寒冷地 ・温暖地東部の 早期・暖地の早 期を除く. セリ は寒地・寒冷地 北部・温暖地東 部の普通期. 温 暖地西部の早期 のみ. アオミド ロ・表層剥離は 寒地のみ. }	+3〜ノビエ1.5 Lまで. ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ・ ヘラオモダカ; 2 Lまで. { 但し, 寒冷地の ホタルイ, 寒冷 地・温暖地東部 のウリカワ・ミ ズガヤツリ・ヘ ラオモダカは発 生始まで. オモダカ; 発生始 まで. ヒルムシロ; 発生 期. セリ; 再生前〜始. アオミドロ・表層 剥離; 発生前.	300 g/a	砂壤土〜埴 土(2 cm/ 日以下). { 但し, 砂 壤土は寒 冷地・温 暖地東部 普通期・ 温暖地西 部早期を 除く. 寒 地の砂壤 土は(1.5 cm/日以 下). 温 暖地西部 早期は (1 cm/ 日以下). 温暖地西 部普通期・ 暖地早期 は(1.5 cm/日以 下). 暖 地普通期 は埴土 〜埴土 (1.5 cm/ 日以下). }	(1) 著しい多雨条 件では除草効果 が低下する場合 があるので使用 はさしひかえる. (2) オモダカ防除 はオモダカに有 効な剤との組み 合わせで, さらに 効果が向上す る(寒冷地・温 暖地東部普通期). (4) 田植前に生育 したミズガヤツ リは, 完全に防 除してから使用 する.
	⑰ NJM-754 粒	土 壌 処 理	全域の普通 期・温暖地 東部の早期.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・ヘラオモ ダカ・ヒルムシロ・ アオミドロ・表層 剥離. { 但し, ウリカワ は寒冷地・温暖 地東部の早期を 除く. ミズガヤ ツリは寒地・温 暖地東部の早期 を除く. ヘラオ モダカは寒冷地 以北のみ. ヒル ムシロは寒冷地 ・温暖地東部を 除く. アオミド ロ・表層剥離は 寒地のみ. }	+3〜ノビエ1.5 Lまで. ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ・ ヘラオモダカ; 2 Lまで. { 但し, 寒冷地の ホタルイ・ミズ ガヤツリ・ヘラ オモダカ, 温暖 地東部普通期の ウリカワは発生 始まで. ヒルムシロ; 発生 期. アオミドロ・表層 剥離; 発生前.	300 g/a	壤土〜埴土 (2 cm/日 以下). { 但し, 温 暖地西部 は(1 cm/ 日以下). 暖地は (1.5 cm/ 日以下). 温暖地東 部早期は 埴土(1 cm/日以 下). 温 暖地東部 普通期は 砂壤土〜 壤土(1.5 cm/日以 下). 埴 壤土〜埴 土.	(1) 田植前に生育 したミズガヤツ リは完全に防除 してから使用する.

区分	薬剤名	処理	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅶ 1. 初期一発処理剤(つづき)	⑮ PSS-①D 粒 (スラッシュ*)	土壌処理	寒冷地以西の早期・普通期.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・アオミドロ・表層剥離. 〔但し、ミズガヤツリは寒冷地南部・温暖地東部の早期・暖地普通期を除く。ヘラオモダカは寒冷地北部のみ。ヒルムシロは寒冷地北部・温暖地東部普通期のみ。アオミドロ・表層剥離は暖地を除く。〕	+3〜ノビエ2 L まで. ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ; 2 L まで. 〔但し、温暖地東部普通期のウリカワは発生始まで. ヘラオモダカ; 発生始まで. ヒルムシロ; 発生期. アオミドロ・表層剥離; 発生前〜始.	300 g/a	壤土〜埴土 (2 cm/日以下). 〔但し、暖地普通期は埴壤土〜埴土 (1 cm/日以下). 温暖地西部以西は (1 cm/日以下). 温暖地東部は砂壤土 (2 cm/日以下) を含む.〕	(1) ミズガヤツリの多い水田では早めに散布する.
	⑯ SPM-344 粒 (ウリデン*)	土壌処理	寒冷地以西の早期・普通期.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ. 〔但し、ミズガヤツリは寒冷地・温暖地東部普通期・暖地のみ。ヘラオモダカは寒冷地のみ.〕	+3〜ノビエ1.5 L まで. ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 発生始まで. 〔但し、温暖地東部のホタルイ、温暖地東部普通期のウリカワ、暖地のホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリは2 L まで.〕	300 g/a	埴土〜埴土 (2 cm/日以下). 〔但し、温暖地西部は (1 cm/日以下). 暖地は (1.5 cm/日以下). 温暖地東部早期は砂壤土 (2 cm/日以下). 暖地早期は砂壤土 (1.5 cm/日以下) を含む.〕	(1) 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用する.
	⑳ TJM-354 粒	土壌処理	全域の普通期.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ. 〔但し、ウリカワは温暖地東部を除く。ミズガヤツリは寒地・温暖地東部を除く。ヘラオモダカ・ヒルムシロは寒冷地以北のみ.〕	+1〜ノビエ1.5 L まで. ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2 L まで. 〔但し、寒冷地のホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ、温暖地東部のホタルイは発生始まで. ヒルムシロ; 発生期.	300 g/a	埴土〜埴土 (2 cm/日以下). 〔但し、暖地は埴壤土〜埴土 (1 cm/日以下). 温暖地は (1 cm/日以下). 寒地は砂壤土 (1.5 cm/日以下) を含む.〕	(1) ミズガヤツリの多い水田では早目に散布する. (2) 田植前に生育したミズガヤツリは完全に防除してから使用する.

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
Ⅶ 1. 初期一発処理剤(つづき)	㊸ TSM-344 粒	土 壌 処 理	全域の早期・ 普通期.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・ヘラオモ ダカ・ヒルムシロ。 〔但し、ミズガヤ ツリは寒地を除 く。ヘラオモダ カは寒冷地以北 のみ。ヒルムシ ロは温暖地東部 早期・温暖地西 部普通期・暖地 早期を除く。〕	+3～ノビエ1.5 Lまで。 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ・ ヘラオモダカ; 2. Lまで。 〔但し、寒冷地の ホタルイ・ウリ カワ・ミズガヤ ツリ・ヘラオモ ダカ、温暖地東 部早期のウリカ ワ、温暖地東部 のミズガヤツリ は発生始まで。 ヒルムシロ; 発生 期。〕	300 g/a	砂壤土～埴 土(2 cm/ 日以下)。 〔但し、温 暖地早期 は砂壤土 を除く。 温暖地西 部早期は (1 cm/ 日以下)。 温暖地西 部普通期 ・暖地は (1.5 cm/ 日以下)。 寒地・温 暖地東部 普通期の 砂壤土は (1.5 cm/ 日以下)〕	(1) 田植前に生育 したミズガヤツ リは、完全に防 除してから使用 する。
	㊸ TSM-612 フロアブル (シーゼット)	土 壌 処 理	全域の早期・ 普通期.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・ヘラオモ ダカ・ヒルムシロ。 〔但し、ミズガヤ ツリは寒地・暖 地を除く。ヘラ オモダカは寒冷 地以北のみ。ヒ ルムシロは温暖 地東部早期・温 暖地西部・暖地 早期を除く。〕	+3～ノビエ1.5 Lまで。 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ; 2 Lまで。 〔但し、寒冷地以 北のホタルイ・ ウリカワ・ミズ ガヤツリ、温暖 地東部のミズガ ヤツリ、温暖地 西部早期のホタ ルイは発生始ま で。 ヘラオモダカ; 発 生始まで。 ヒルムシロ; 発生 期。〕	100 ml/a 〔但し、寒 冷地以北 は100～ 120 ml/a。 温暖地西 部普通期 は80～100 ml/a。〕	砂壤土～埴 土(2 cm/ 日以下)。 〔但し、寒 冷地以北 ・温暖地 早期は砂 壤土を除 く。温暖 地西部早 期は(1 cm/日以 下)。暖 地は(1.5 cm/日以 下)〕	(1) 広葉多発田で の使用はさける。 (2) 水田全面に均 一に散布する。 (3) 田植前に生育 したミズガヤツ リは、完全に防 除してから使用 する。
	㊸ TSM-612 ⑩ フロアブル	土 壌 処 理	寒地.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ヘラオ モダカ・ヒルムシ ロ。	+3～ノビエ1.5 Lまで。 ホタルイ・ウリカ ワ・ヘラオモダカ; 発生始まで。 ヒルムシロ; 発生 期。	100 ml/a	壤土～埴土 (2 cm/日 以下)。	(1) 水田全面に均 一に散布する。
	㊸ TSM-344 ⑩粒	土 壌 処 理	寒地.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ヘラオ モダカ・ヒルムシ ロ。	+3～ノビエ1.5 Lまで。 ホタルイ・ウリカ ワ・ヘラオモダカ; 2 Lまで。 ヒルムシロ; 発生 期。	300 g/a	壤土～埴土 (2 cm/日 以下)。	

区分	薬 剤 名	処 理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適 用 土 壤	使用上の注意
VII 1. 初・中期一発処理剤	① DM-72 B ①粒 〔Ⅱ-6-(3) と併用. (ワーキング*)〕	茎葉兼土壌処理	寒冷地南部 以西の早期・普通期.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・セリ・アオミドロ・表層剥離. 〔但し、ヘラオモダカは寒冷地南部のみ。ヒルムシロは寒冷地南部・温暖地東部・暖地普通期を除く。セリは温暖地西部普通期・暖地を除く。アオミドロ・表層剥離は温暖地西部以西のみ。〕	+5〜ノビエ2.5 Lまで. ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2 Lまで. ヒルムシロ; 発生期. セリ; 再生前〜始. アオミドロ・表層剥離; 発生前.	300 g/a	砂壤土〜埴土 (2 cm/日以下). 〔但し、寒冷地南部・温暖地東部普通期・温暖地西部早期は砂壤土を除く。寒冷地南部・温暖地西部早期・暖地は (1 cm/日以下). 暖地普通期は埴土〜埴土 (1 cm/日以下).〕	(1) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合がありますので、使用はさしひかえる。 (2) 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用する。
	② DPX-84 B粒 〔Ⅱ-6-(1) Ⅱ-6-(3) と併用. (ロザール25)〕	茎葉兼土壌処理	寒地・寒冷地北部.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ・クログワイ・ヒルムシロ・エゾノサヤヌカグサ・セリ・シズイ・アオミドロ・表層剥離. 〔但し、ミズガヤツリ・オモダカ・クログワイ・シズイは寒冷地北部のみ。エゾノサヤヌカグサは寒地のみ。〕	+5〜ノビエ2.5 Lまで. 〔但し、寒地は+10〜+20 (ノビエ2.5 L) まで.〕 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2 Lまで. オモダカ・アオミドロ・表層剥離; 発生始まで. クログワイ; 発生始. ヒルムシロ; 発生期. エゾノサヤヌカグサ; 1〜4 L (草丈20 cm以下) まで. セリ; 再生前〜始. シズイ; 草丈0〜3 cm.	300 g/a	砂壤土〜埴土 (2 cm/日以下). 〔但し、寒地の砂壤土は (1.5 cm/日以下).〕	(1) 著しい多雨条件では、除草効果が低下する場合がありますので、使用はさしひかえる。 (2) オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで使用。 (3) シズイ防除はシズイに有効な剤との組み合わせで使用。 (4) クログワイ防除はクログワイに有効な剤との組み合わせで使用。
	③ DPX-84 B①粒 〔Ⅱ-6-(1) Ⅱ-6-(2) Ⅱ-6-(3) Ⅱ-6-(4) と併用. (ロザール17)〕	茎葉兼土壌処理	寒冷地南部 以西の早期・普通期.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ・クログワイ・ヒルムシロ・セリ・アオミドロ・表層剥離. 〔但し、オモダカは寒冷地南部・温暖地東部のみ。クログワイは温暖地以西の普通期のみ。ヒルムシロ・セリは暖	+5〜ノビエ2.5 Lまで. ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2 Lまで. オモダカ; 発生始まで. クログワイ; 発生始. ヒルムシロ; 発生期. セリ; 再生前〜始. アオミドロ・表層剥離; 発生前.	300 g/a	砂壤土〜埴土 (2 cm/日以下). 〔但し、温暖地東部早期・温暖地西部普通期は砂壤土を除く。温暖地西部早期は埴土〜埴土 (1 cm/日以下).〕	(1) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合がありますので使用はさしひかえる。 (2) オモダカ防除はオモダカに有効な剤との組み合わせで使用。 (3) 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用する。

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適用草種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅶ 2. 初 ・ 中 期 一 発 処 理 剤 (き)	③ DPX-84 B ㊦粒 (つづき)			地の普通期を除く。アオミドロ・表層剥離は温暖地東部早期・暖地を除く。			暖地は埴壤土～埴土(1cm/日以下)。	(4) クログワイ防除はクログワイに有効な剤との組み合わせで使用する。
	④ DPX-84 SC 粒 (Ⅱ-6-(1) Ⅱ-6-(8) と併用。 (フジガラス 25)	茎葉兼土壌処理	寒地・寒冷地北部。 (但し、温暖地東部普通期はクログワイのみ適用。クログワイ; 発生始。埴壤土～埴土(1cm/日以下)。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・クログワイ・ヒルムシロ・エゾノサヤヌカグサ・セリ・コウキヤガラ・アオミドロ・表層剥離。 (但し、ミズガヤツリ・クログワイ・セリ・コウキヤガラは寒冷地北部のみ。エゾノサヤヌカグサは寒地のみ。)	+5～ノビエ 2.5 L まで。 (但し、寒地は+10～+20(ノビエ 2 L)まで。 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2 L まで。 クログワイ; 発生始。 ヒルムシロ; 発生期。 エゾノサヤヌカグサ; 1～4 L(草丈20cm以下)。 セリ; 再生前～始。 コウキヤガラ; 発生始～盛。 アオミドロ・表層剥離; 発生始まで。	300 g/a	埴土～埴土(2cm/日以下) (但し、寒地は砂壤土(1.5cm/日以下)を含む。	(1) 著しい多雨条件では、除草効果が低下する場合があるので、使用はさしひかえる。 (2) コウキヤガラ防除はコウキヤガラに有効な剤との組み合わせで使用する。 (3) コウキヤガラに有効な剤との組み合わせで、連年施用することによりさらに効果が向上する(寒冷地北部)。 (4) クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで使用する。 (5) クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する(温暖地東部普通期)。
	⑤ DPX-84 SC ㊦粒 (Ⅱ-6-(1) Ⅱ-6-(7) と併用。 (フジガラス 17)	茎葉兼土壌処理	寒冷地南部以西の早期・普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・クログワイ・ヒルムシロ・セリ・クサネム・アオミドロ・表層剥離。 (但し、クログワイは温暖地以西の普通期のみ。ヒルムシロは温暖地東部・温暖地西部以西の早期を除く。セリは寒冷地南部・温暖地普通期・暖地早期のみ。クサネムは寒冷地南部のみ。アオミドロ・表層剥離は温暖地東部・温暖地西部普通期のみ。	+3～ノビエ 2.5 L まで。 (但し、寒冷地南部の砂壤土は+7～ノビエ 2.5 L まで。温暖地西部以西は+5～ノビエ 2.5 L まで。 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ; 2 L まで。 クログワイ; 発生始。 ヒルムシロ; 発生期。 セリ; 再生前～始。 クサネム; 発生始～本葉展開期。 アオミドロ・表層剥離; 発生前。	300 g/a	砂壤土～埴土(2cm/日以下)。 (但し、温暖地東部早期は(1cm/日以下)。 暖地は(1.5cm/日以下)。 温暖地西部早期は埴壤土～埴土(1cm/日以下)。	(1) 処理後24時間以内から1日50mm以上の降雨が連続することが予想される場合は使用をさしひかえる。 (2) 田植前に生育したミズガヤツリは完全に防除してから使用する。 (3) クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで使用する。

区分	薬剤名	処理	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅶ 1. 初・中期 一発処理剤(つづき)	⑥ DPX-84 TD①粒 (Ⅱ-6-(1) Ⅱ-6-(2) Ⅱ-6-(7) Ⅱ-6-(8) と併用. (ザーク D17)	茎葉 兼土壌 処理	寒冷地南部 以西の早期・ 普通期.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・オモダカ・ ヘラオモダカ・ク ログワイ・ヒルム シロ・セリ・クサ ネム・コウキヤガ ラ・アオミドロ・ 表層剥離. (但し、オモダカ・ ヘラオモダカは 寒冷地南部・温 暖地東部普通期 のみ。クログワ イは温暖地以西 普通期のみ。ヒ ルムシロは温暖 地東部早期を除 く。セリは寒冷 地南部・暖地普 通期を除く。ク サネムは寒冷地 南部のみ。コウ キヤガラは暖地 普通期のみ。ア オミドロ・表層 剥離は寒冷地南 部・温暖地東部 早期・温暖地西 部普通期のみ。)	+5〜ノビエ3 L まで。 (但し、温暖地東 部以北・温暖地 西部早期は+5 〜ノビエ2.5 L まで。 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ・ オモダカ・ヘラオ モダカ; 2 Lまで。 (但し、温暖地東 部普通期のオモ ダカ・ヘラオモ ダカは発生始ま で。 クログワイ; 発生 始。 ヒルムシロ; 発生 期。 セリ; 再生前〜始。 クサネム; 発生始 〜本葉展開期。 コウキヤガラ; 発 生始。 アオミドロ・表層 剥離; 発生前。	300 g/a	砂壤土〜埴 土(2 cm/ 日以下)。 (但し、温 暖地西部 早期は (1 cm/ 日以下)。 暖地は (1.5 cm/ 日以下)。	(1) 植付精度不良 で、根が露出 する水田では使用 しない。 (2) 処理後24時間 以内から1日50 mm以上の降雨が 連続することが 予想される場合 は使用をさしひ かえる。 (3) オモダカ防除 は、オモダカに 有効な剤との組 み合わせで使用 する。 (4) オモダカに有 効な剤との組み 合わせで、連年 施用することに よりさらに効果 が向上する(温 暖地東部普通期)。 (5) 田植前に生育 したミズガヤツ リは、完全に防 除してから使用 する。 (6) コウキヤガラ 防除はコウキヤ ガラに有効な剤 との組み合わせ で使用する。 (7) クログワイ防 除は、クログワ イに有効な剤と の組み合わせで 使用する。 (8) クログワイに 有効な剤との組 み合わせで連年 施用することに よりさらに効果 が向上する(温 暖地の普通期)。
	⑦ NC-311 B①粒 (Ⅱ-6-(1) Ⅱ-6-(2) (前年通り) Ⅱ-6-(7) と併用. (サーベイヤ)	茎葉 兼土壌 処理	全域の早期・ 普通期. (但し、暖 地の早期 を除く.)	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・オモダカ・ ヘラオモダカ・ク ログワイ・ヒルム シロ・エゾノサヤ ヌカグサ・セリ・ クサネム・アオミ ドロ・表層剥離. (但し、ミズガヤ ツリは寒地を除 く。オモダカは 寒冷地北部・温 暖地東部普通期 のみ。ヘラオモ	+5〜ノビエ2.5 Lまで。 (但し、寒地は+ 10〜+20(ノビ エ2 L)まで。 温暖地東部の砂 壤土は+7〜ノ ビエ2.5 Lまで。 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ・ オモダカ・ヘラオ モダカ; 2 Lまで。 (但し、暖地西 部のヘラオモダ カは発生始まで。 クログワイ; 発生	300 g/a	埴土〜埴土 (2 cm/ 日以下)。 (但し、暖 地は(1.5 cm/日以 下)。温 暖地西部 早期は (1 cm/ 日以下)。 寒地・温 暖地東部 普通期は 砂壤土 (1.5 cm/ 日以下)。	(1) 処理後24時間 以内から1日50 mm以上の降雨が 連続することが 予想される場合 は使用をさしひ かえる。 (2) オモダカ防除 は、オモダカに 有効な剤との組 み合わせで使用 する。 (3) 田植前に生育 したミズガヤツ リは、完全に防 除してから使用

区分	薬 剤 名	処 理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適 用 土 壌	使用上の注意
VII 1. 初・中期一発処理剤(つづき)	⑦ NC-311 B①粒 (つづき)			ダカは寒冷地以北・温暖地西部普通期のみ。クログワイは温暖地以西の普通期のみ。ヒルムシロは温暖地東部を除く。エゾノサヤヌカグサは寒地のみ。セリは全域の普通期のみ。クサネムは寒冷地南部と温暖地東部普通期のみ。アオミドロ・表層剥離は寒地のみ。	始。 ヒルムシロ; 発生期。 エゾノサヤヌカグサ; 発生始。 セリ; 再生前～始。 クサネム; 発生始～本葉展開期。 アオミドロ・表層剥離; 発生始。		日以下)を含む。温暖地東部早期は砂壤土～埴土(1cm/日以下)。温暖地西部普通期は砂壤土～埴土(1.5cm/日以下)。	する。 (4) クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで使用する。
	⑧ NC-311 BCG粒 (Ⅱ-6-(5) Ⅱ-6-(6) Ⅱ-6-(7) Ⅱ-6-(8) と併用。 (イナズマ)	茎葉兼土壌処理	全域の早期・普通期。 (但し、暖地の早期を除く。)	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・エゾノサヤヌカグサ・コウキヤガラ・セリ・シズイ・クサネム・アオミドロ・表層剥離。 (但し、ミズガヤツリは寒地を除く。ヘラオモダカは寒地・寒冷地・温暖地西部普通期のみ。ヒルムシロは温暖地東部早期を除く。エゾノサヤヌカグサは寒地のみ。コウキヤガラ・シズイは寒冷地北部のみ。セリは寒地・温暖地以西の普通期・温暖地西部の早期のみ。クサネムは寒冷地南部・温暖地東部普通期のみ。アオミドロ・表層剥離は寒地・温暖地東部普通期のみ。	+5～ノビエ2.5Lまで。 (但し、寒地は+10～+20(ノビエ2L)まで。 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで。 (但し、温暖地西部のヘラオモダカは発生始まで。 ヒルムシロ; 発生期。 エゾノサヤヌカグサ・コウキヤガラ; 発生始。 セリ; 再生前～始。 シズイ; 発生前～始期。 クサネム; 発生始～本葉展開期。 アオミドロ・表層剥離; 発生前。	300g/a	砂壤土～埴土(2cm/日以下)。 (但し、温暖地西部普通期は(1.5cm/日以下)。寒地・寒冷地は砂壤土を除く。温暖地東部早期の砂壤土は(1cm/日以下)。温暖地西部普通期は埴土～埴土(1cm/日以下)。暖地は埴土～埴土(1.5cm/日以下)。	(1) 処理後24時間以内から1日50mm以上の降雨が連続することが予想される場合は使用をさしひかえる。 (2) 植付精度不良で、根が露出する水田では使用しない。 (3) 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用する。 (4) コウキヤガラ防除は、コウキヤガラに有効な剤との組み合わせで使用する。 (5) シズイ防除は、シズイに有効な剤との組み合わせで使用する。
	⑨ NC-311 BCG-D 粒	茎葉兼土壌処理	寒地・寒冷地。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・エゾノサヤヌカグサ・セリ・アオミドロ・表層剥離。 (但し、ミズガヤ	+5～ノビエ2.5Lまで。 (但し、寒地は+10～+20(ノビエ2L)まで。 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで。	300g/a	埴土～埴土(2cm/日以下)。	(1) 著しい多雨条件では、除草効果が低下する場合がありますので、使用はさしひかえる。

区分	薬剤名	処理	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
VII 1. 初・中期 一発処理剤 (つづき)	⑨ NC-311 BCG-D 粒 (つづき)			ツリは寒地を除く。エゾノサヤヌカグサ・セリは寒地のみ。	ヒルムシロ; 発生期。 エゾノサヤヌカグサ; 発生始。 セリ; 再生前～始。 アオミドロ・表層剥離; 発生前。			
	⑩ NC-311 BS粒 (<u>II-6-(3)</u> <u>II-6-(5)</u> <u>II-6-(6)</u> <u>II-6-(7)</u> <u>II-6-(8)</u>) と併用。 (ボルサー)	茎葉兼土壌処理	全域の早期・普通期。 (但し、暖地の早期を除く。)	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・エゾノサヤヌカグサ・コウキヤガラ・シズイ・セリ・クサネム・アオミドロ・表層剥離。 (但し、ミズガヤツリは寒地を除く。ヘラオモダカは寒冷地以北のみ。ヒルムシロは寒冷地南部・温暖地東部早期を除く。エゾノサヤヌカグサは寒地のみ。コウキヤガラ・シズイは寒冷地北部のみ。セリは温暖地西部普通期を除く。クサネムは寒冷地南部・温暖地東部普通期のみ。アオミドロ・表層剥離は寒地・温暖地東部普通期のみ。	+5～ノビエ2.5Lまで。 (但し、寒地は+10～+20(ノビエ2L)まで。 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで。 ヒルムシロ; 発生期。 エゾノサヤヌカグサ・コウキヤガラ; 発生始。 シズイ; 発生前～始期。 セリ; 再生前～始。 クサネム; 発生始～本葉展開期。 アオミドロ・表層剥離; 発生前。	300 g/a	砂壤土～埴土(2cm/日以下)。 (但し、寒地の砂壤土は(1.5cm/日以下)。寒冷地は砂壤土を除く。温暖地東部早期は(1cm/日以下)。温暖地西部は埴土～埴土(1cm/日以下)。暖地は埴土～埴土(1cm/日以下)。	(1) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえる。 (2) 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用する。 (3) コウキヤガラ防除は、コウキヤガラに有効な剤との組み合わせで使用する。 (4) シズイ防除は、シズイに有効な剤との組み合わせで使用する。
	⑪ NC-311 R粒 (<u>II-6-(1)</u> <u>II-6-(2)</u> <u>II-6-(5)</u>) と併用。 (ベルーフ)	茎葉兼土壌処理	温暖地東部以北の普通期。 (但し、温暖地西部以西普通期はクログワイのみ適用。クログワイ; 発生始。埴土～埴土(1cm/日以下)。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ・クログワイ・ヒルムシロ・エゾノサヤヌカグサ・セリ・シズイ。 (但し、ミズガヤツリは寒地を除く。オモダカは寒冷地北部・温暖地東部普通期のみ。ヘラオモダカは寒冷地以北のみ。クログワイは温暖地東部普通期のみ。ヒルムシロは寒地・温暖地東部	+7～ノビエ2.5Lまで。 (但し、寒地は+10～+20(ノビエ2L)まで。 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで。 オモダカ; 発生始まで。 クログワイ; 発生始。 ヒルムシロ; 発生期。 エゾノサヤヌカグサ; 発生始。 セリ; 再生前～始。 シズイ; 発生前～始期。	300 g/a	埴土～埴土(2cm/日以下)。 (但し、温暖地東部普通期は砂壤土(2cm/日以下)を含む)。	(1) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので、使用はさしひかえる。 (2) オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで使用する。 (3) オモダカに有効な剤との組み合わせで、連年施用することによりさらに効果が向上する(寒冷地北部・温暖地東部普通期)。 (4) クログワイ防除はクログワイ

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
Ⅶ 2. 初・中期 一発処理剤 (つづき)	⑪ NC-311 R粒 (つづき)			普通期のみ。エゾノサヤヌカグサは寒地のみ。シズイは寒冷地北部のみ。				に有効な剤との組み合わせで、使用する。 (5) シズイ防除は、シズイに有効な剤との組み合わせで使用。
	⑫ NC-311 R⑩粒	茎葉兼土壌処理	温暖地東部以北の普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・エゾノサヤヌカグサ・セリ。 〔但し、ミズガヤツリは寒地を除く。ヘラオモダカは寒冷地以北のみ。ヒルムシロ・セリは寒地。温暖地東部普通期のみ。エゾノサヤヌカグサは寒地のみ。〕	+7～ノビエ2.5 Lまで。 〔但し、寒地は+10～+20(ノビエ2 L)まで。〕 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2 Lまで。 ヒルムシロ; 発生期。 エゾノサヤヌカグサ; 発生始。 セリ; 再生前～始。	300 g/a	壤土～埴土(2 cm/日以下)。 〔但し、温暖地東部普通期は砂壤土(2 cm/日以下)を含む。〕	(1) 著しい多雨条件では、除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえる。
	⑬ NC-311 T粒 〔Ⅱ-6-(3) Ⅱ-6-(6) Ⅱ-6-(8) と併用。 (アクト)〕	茎葉兼土壌処理	全域の早期・普通期。 〔但し、暖地の早期を除く。〕	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・エゾノサヤヌカグサ・セリ・コウキヤガラ・アオミドロ・表層剥離。 〔但し、ミズガヤツリは寒地を除く。ヘラオモダカは寒地・寒冷地北部・温暖地西部普通期のみ。ヒルムシロは寒地・寒冷地北部・温暖地以西の普通期・温暖地西部早期のみ。エゾノサヤヌカグサは寒地のみ。セリは寒地・寒冷地北部・温暖地東部普通期・温暖地西部のみ。コウキヤガラは寒冷地北部のみ。アオミドロ・表層剥離は寒地・温暖地東部普通期・暖地普通期のみ。〕	+5～ノビエ3 Lまで。 〔但し、寒地は+10～ノビエ2 Lまで。寒冷地・温暖地は+5～ノビエ2.5 Lまで。〕 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2 Lまで。 〔但し、温暖地西部のヘラオモダカは発生始まで。〕 ヒルムシロ; 発生期。 エゾノサヤヌカグサ・コウキヤガラ; 発生始。 セリ; 再生前～始。 アオミドロ・表層剥離; 発生前。	300 g/a	砂壤土～埴土(2 cm/日以下)。 〔但し、温暖地西部以西の普通期は(1.5 cm/日以下)。寒地の砂壤土は(1.5 cm/日以下)。寒冷地は砂壤土を除く。温暖地西部早期は埴土～埴土(1 cm/日以下)。〕	(1) 処理後24時間以内から1日50 mm以上の降雨が連続することが予想される場合は使用をさしひかえる。 (2) 植付精度不良で、根が露出する水田では使用しない。 (3) 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用する。 (4) コウキヤガラ防除は、コウキヤガラに有効な剤との組み合わせで使用。

区分	薬剤名	処理	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
VII 1. 初・中期一発処理剤(つづき)	⑭ NC-311 T⑩粒	茎葉兼土壌処理	寒地・寒冷地北部.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・セリ・アオミドロ・表層剥離。 〔但し、ミズガヤツリは寒地を除く。ウリカワ・セリ・アオミドロ・表層剥離は寒地のみ。〕	+5〜ノビエ2.5Lまで。 〔但し、寒地は+10〜ノビエ2Lまで。〕 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで。 ヒルムシロ; 発生期。 セリ; 再生前〜始。 アオミドロ・表層剥離; 発生前。	300 g/a	壤土〜埴土(2cm/日以下)。	(1) 著しい多雨条件では、除草効果が低下する場合がありますので、使用はさしひかえる。 (2) 植付精度不良で根が露出する水田では使用しない。
	⑮ NC-YH 粒	茎葉兼土壌処理	寒冷地・温暖地の普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・セリ・アオミドロ・表層剥離。 〔但し、ヘラオモダカは寒冷地のみ。ヒルムシロは寒冷地・温暖地東部普通期・温暖地西部(四国)の普通期のみ。セリは温暖地普通期のみ。アオミドロ・表層剥離は温暖地東部普通期のみ。〕	+5〜ノビエ2.5Lまで。 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで。 ヒルムシロ; 発生期。 セリ; 再生前〜始。 アオミドロ・表層剥離; 発生前。	300 g/a	壤土〜埴土(2cm/日以下)。 〔但し、温暖地西部普通期は砂埴土〜埴土(1cm/日以下)。温暖地普通期は埴土〜埴土(1cm/日以下)。〕	(1) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合がありますので使用はさしひかえる。 (2) 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用する。
	⑯ TH-913 BA粒	茎葉兼土壌処理	全域の早期・普通期。 〔但し、暖地早期を除く。〕	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・セリ・アオミドロ・表層剥離。 〔但し、ミズガヤツリは寒地を除く。ヘラオモダカは寒冷地以北のみ。ヒルムシロは温暖地東部早期・温暖地西部普通期を除く。アオミドロ・表層剥離は寒冷地・温暖地東部早期・暖地を除く。〕	+5〜ノビエ2.5Lまで。 〔但し、寒地は+10〜+20(ノビエ2L)まで。〕 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで。 ヒルムシロ; 発生期。 セリ; 再生前〜始。 アオミドロ・表層剥離; 発生前。	300 g/a	壤土〜埴土(2cm/日以下)。 〔但し、温暖地東部早期・温暖地西部普通期は埴土〜埴土(1cm/日以下)。温暖地西部早期は(1cm/日以下)。温暖地東部普通期は砂埴土(2cm/日以下)を含む。暖地普通期は埴土〜埴土(1.5cm/日以下)。〕	(1) 著しい多雨条件では、除草効果が低下する場合がありますので使用はさしひかえる。 (2) 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用する。

区分	薬剤名	処理	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
VII 1. 初・中期一発処理剤(つづき)	⑰ TH-913 BS粒	茎葉兼土壌処理	全域の早期・普通期。 (但し、暖地の早期を除く。)	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・セリ・アオミドロ・表層剥離。 (但し、ミズガヤツリは寒地を除く。ヘラオモダカは寒冷地以北のみ。ヒルムシロは温暖地東部早期を除く。セリは暖地を除く。アオミドロ・表層剥離は寒地・温暖地東部普通期のみ。)	+5～ノビエ2.5Lまで。 (但し、寒地は+10～+20(ノビエ2L)まで。 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで。 (但し、温暖地東部早期のウリカワは発生始まで。ヒルムシロ; 発生期。 セリ; 再生前～始。アオミドロ・表層剥離; 発生前。	300 g/a	壤土～埴土(2 cm/日以下)。 (但し、温暖地西部は1 cm/日以下)。温暖地東部早期は埴土～埴土(1 cm/日以下)。温暖地東部普通期は砂壤土(2 cm/日以下)を含む。暖地普通期は埴土～埴土(1 cm/日以下)。	(1) 処理後24時間以内から1日50 mm以上の降雨が連続することが予想される場合は使用をさしひかえる。 (2) 田植前に生育したミズガヤツリは完全に防除してから使用する。
	⑱ DPX-84 T粒 (Ⅱ-6-(1)と併用。 (ザーク25)	茎葉兼土壌処理	寒地・寒冷地。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ・クログワイ・ヒルムシロ・エゾノサヤスカグサ・セリ・アオミドロ・表層剥離・コウキヤガラ。 (但し、ミズガヤツリ・オモダカは寒冷地のみ。エゾノサヤスカグサは寒地のみ。クログワイ・セリ・コウキヤガラは寒冷地北部のみ。)	+5～ノビエ2.5Lまで。 (但し、寒地はノビエ2Lまで。 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで。 オモダカ・クログワイ; 発生始まで。ヒルムシロ; 発生期。 (但し、寒地は発生始まで。 アオミドロ・表層剥離; 発生前～始。 (但し、寒冷地は発生始。 エゾノサヤスカグサ; 1～4 L(草丈20 cm以下)。 セリ; 再生前～始。コウキヤガラ; 発生始～盛期。	300 g/a	壤土～埴土(2 cm/日以下)。 (但し、寒地は砂壤土(1.5 cm/日以下)を含む。)	(1) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえる。 (2) 植付精度不良で、根が露出する水田では使用しない。 (3) コウキヤガラ防除は、コウキヤガラに有効な剤との組み合わせで使用する。 (4) オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで使用する。 (5) クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで使用する。
	⑲ NC-311 BCG®粒	茎葉兼土壌処理	寒地・寒冷地北部。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・セリ・アオミドロ・表層剥離。 (但し、ミズガヤツリは寒地を除く。アオミドロ・表層剥離は寒地のみ。)	+5～ノビエ2.5Lまで。 (但し、寒地は+10～+20(ノビエ2L)まで。 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2Lまで。 ヒルムシロ; 発生期。 セリ; 再生前～始。アオミドロ・表層剥離; 発生前。	300 g/a	壤土～埴土(2 cm/日以下)。	(1) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえる。

区分	薬 剤 名	処理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
VII 2. 初・中期一発処理剤(つづき)	⑳ NC-311 SC粒	茎葉兼土壌処理	寒地・寒冷地北部.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・セリ・アオミドロ・表層剥離。 〔但し、ミズガヤツリは寒地を除く。アオミドロ・表層剥離は寒地のみ。〕	+5〜ノビエ 2.5 L まで。 〔但し、寒地は+10〜+20(ノビエ 2 L) まで。〕 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2 L まで。 ヒルムシロ; 発生期。 セリ; 再生前〜始。アオミドロ・表層剥離; 発生前。	300 g/a	壤土〜埴土(2 cm/日以下)。	(1) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえる。
	㉑ DM-72B 粒 〔Ⅱ-6-(3) Ⅱ-6-(5) と併用。 (ワーキング*)〕	茎葉兼土壌処理	寒地・寒冷地北部.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・セリ・シズイ・アオミドロ・表層剥離。 〔但し、ミズガヤツリ・シズイは寒地を除く。〕	+5〜ノビエ 2.5 L まで。 〔但し、寒地は+10〜+20(ノビエ 2 L) まで。〕 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2 L まで。 ヒルムシロ; 発生期。 セリ; 再生前〜始。シズイ; 草丈 2〜3 cm まで。 アオミドロ・表層剥離; 発生期。	300 g/a	壤土〜埴土(2 cm/日以下)。	(1) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえる。
VII 3. 長期持続型一発処理剤	㉒ TSM-344 ㊸粒	土壌処理	寒冷地北部.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ。	+3〜ノビエ 1.5 L まで。 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 発生始まで。 ヒルムシロ; 発生期。	300 g/a	壤土〜埴土(2 cm/日以下)。	
	㉓ DPX-84 B粒 (ロザール25)	茎葉兼土壌処理	寒冷地北部.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ。	田植前後に初期剤を少量散布した場合。 +5〜ノビエ 2.5 L まで。 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ; 2 L まで。	300 g/a	砂壤土〜埴土(2 cm/日以下)。	(1) 初期剤を前処理に少量散布(200 g/a)することにより除草効果向上。 (2) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえる。
VIII 1. 少量散布法	㉔ DPX-84 B㊸粒 (ロザール17)	茎葉兼土壌処理	寒冷地南部.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ。	田植前後に初期剤を少量散布した場合。 +5〜ノビエ 2.5 L まで。 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ; 2 L まで。	300 g/a	砂壤土〜埴土(2 cm/日以下)。	(1) 初期剤を前処理に少量散布(200 g/a)することにより除草効果向上。 (2) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえる。

区分	薬剤名	処理	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅷ 1. 少量 散布 法 (つしき)	③ DPX-84 M粒 (プッシュ25)	土 壌 処 理	寒冷地北部.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・ヘラオモ ダカ・アオミドロ・ 表層剥離.	田植前後に初期剤 を少量散布した場 合. +7〜ノビエ2L まで. ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ・ ヘラオモダカ; 2 Lまで. アオミドロ・表層 剥離; 発生前.	300 g/a	壤土〜埴土 (2 cm/日 以下).	(1) 初期剤を前処 理に少量散布 (200 g/a) す ることにより除 草効果向上. (2) 著しい多雨条 件では除草効果 が低下する場合 があるので使用 はさしひかえる.
	④ DPX-84 M粒 (プッシュ17)	土 壌 処 理	温暖地の普 通期.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・オモダカ・ ヒルムシロ. (但し, オモダカ・ ヒルムシロは温 暖地東部普通期 のみ.)	田植前後に初期剤 を少量散布した場 合. +3〜ノビエ2L まで. (但し, 温暖地東 部普通期は+5 〜ノビエ2Lま で.) ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ; 2Lまで. オモダカ; 発生始 まで. ヒルムシロ; 発生 期.	300 g/a	砂壤土〜埴 土(2 cm/ 日以下). (但し, 温 暖地西部 普通期の 砂壤土は (1.5 cm/ 日以下).)	(1) 初期剤を前処 理に少量散布 (200 g/a) す ることにより除 草効果向上. (2) 処理後24時間 以内から1日50 mm以上の降雨が 連続することが 予想される場合 は使用をさしひ かえる. (3) オモダカ防除 は, オモダカに 有効な剤との組 み合わせて使用 する.
Ⅷ 2. 少量 散布 法	① CG-113 粒 (ソルネット)	土 壌 処 理	寒冷地・温 暖地東部の 普通期・温 暖地早期.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・ヘラオモ ダカ. (但し, ヘラオモ ダカは寒冷地北 部のみ. ミズガ ヤツリは温暖地 西部早期のみ.)	植代後〜4. ノビエ; 1Lまで. ホタルイ・ミズガ ヤツリ・ヘラオモ ダカ; 発生始まで.	150 ~ 200 g/a (少量散布).	砂壤土〜埴 土(2 cm/ 日以下). (但し, 温 暖地東部 早期は (1 cm/ 日以下). 温暖地西 部早期は 埴土〜埴 土(1cm/ 日以下).)	(1) 一発処理型除 草剤の前処理と して植代後〜 4に少量散布 (150~200 g/ a)が可能.

注) 1. アンダーライン実線は本年度拡大された部分. 点線はその一部が拡大されたものを示す.

2. 薬剤名欄の下段に商品名()内)または農薬登録後予定される商品名を()内*印付)を参考の
為に記載した.

新刊	野外観察ハンドブック	校庭や路傍で普通に見られる雑草を取り上げ、ユニークな視点からその見分けかたを展開。野外指導に携わる著者が、身近な雑草を生きた教材として活用するためにつくりだした、まったく新しいタイプの野外観察図鑑。 ●雑草の「くらし」と「かたち」 ●校庭の雑草160種 ●校庭雑草の調べかた の3部構成。
	校庭の雑草	
	岩瀬徹・川名興/共著 A5判/147頁/カラー写真約520点/定価1,900円	
全国農村教育協会 〒110 東京都台東区台東1-26-6(植調会館) ☎03(833)1821 振替/東京1-97736		